

2025年度

大津野1号雨水枝線築造工事(4工区)実施設計書

福山市大門町一丁目及び大門町二丁目地内

工 事 概 要	工事延長	L=	180.3	m
	側溝工	L=	56.3	m
	集水柵工	N=	3	基
	仮設工		—	式
	付帯工		—	式

# 特 記 仕 様 書

## 第 1 章 総 則

### 第 1 節 適 用

1. 本特記仕様書は、福山市上下水道局施設部施設整備課の発注する工事に適用する。

### 第 2 節 留 意 事 項

1. 本特記仕様書に記載のない事項については、「福山市工事請負契約約款（契約書を含む）」、「設計図書（別冊図面、仕様書、現場説明書及び現場説明に対する質問回答書をいう）」、「福山市上下水道局建設工事施行規程」、「福山市上下水道局工事検査技術基準」、「下水道土木工事共通仕様書(案)-2021年版-（(公社)日本下水道協会）」、「広島県土木工事共通仕様書（令和6年8月）」、その他関係規則によるものとする。
2. 施工にあたり、日本国の関係諸法令、諸官公庁の通達、施工に関する協定事項等を遵守し、諸官公署への届出及び許可等の手続きを速やかに行ない、監督員に報告すること。
3. 施工にあたり、必要な事項及び固有の条件等は、この特記仕様書によるもののほか、別紙、施工条件表のとおりとする。なお、施工条件に変更が生じた場合は、監督員と協議すること。
4. 契約約款第3条に基づき、契約締結後14日以内に工程表を作成し、提出すること。
5. 着工前に地元関係者と本工事の施工方法等について、十分に打合せ等を行い理解を得て円滑に工事が完成するよう努めること。
6. 工事開始日以降30日以内に着手すること。
7. 本工事は、法定外の労災保険契約の保険料を見込んでいます。

### 第 3 節 事 業 損 失 防 止

1. 施工に伴い通常避けることができない地盤沈下、振動等を原因として生じた、建物等の損害等の補償に関しては、「福山市上下水道局建設工事損失補償事務特記仕様書」によるものとする。
2. 発注者が近接する建物等の調査を実施する場合は、受注者は発注者の行う調査の範囲を把握し、近接する区間の施工には、細心の注意を払って施工すること。
3. 発注者が調査を実施しない建物等について、受注者は必要に応じて事前に建物等の調査を実施すること。なお、調査箇所等を変更をする必要がある場合は、別途、協議すること。
4. 事業損失が発生する可能性があるときは、監督員と協議すること。

### 第 4 節 主 任（監 理）技 術 者 の 配 置 等

1. 主任（監理）技術者の専任期間等  
専任が義務付けられた工事に配置される技術者の専任期間について、次に掲げる場合で、打合せ簿等により、その旨を明確にしたときは専任を要しないものとする。なお、工期の終期が到来する前に工事完成検査が終了した場合の配置期間は、引渡しを受けた日までとする。  
①契約書上の工期の始期から現場施工に着手するまでの期間（現場事務所の設置、資機材の搬入または仮設工事等が開始されるまでの間）  
②工事用地等の確保が完了、自然災害の発生又は埋蔵文化財調査等により、工事を全面的に一時中止している期間  
③橋梁、ポンプ、ゲート、エレベーター等の工場製作を含む工事であって、工場製作のみが行われている期間  
なお、工場製作の過程を含む工事の工場製作過程においても、建設工事を適正に施工するため、主任（監理）技術者がこれを管理する必要があるが、当該工場製作過程において、同一工場内で他の同種工事に係る製作と一元的な管理体制のもとで製作を行うことが可能である場合は、同一の主任（監理）技術者がこれらの製作を一括して管理することができる。  
④工事完成後、検査が終了し、事務手続きなどの残務があり、引渡しを受けるまでの期間
2. 主任（監理）技術者の変更の特例  
次に掲げる場合で、打合せ簿等により、その旨を明確にしたときは、主任（監理）技術者の変更ができるものとする。  
①受注者の責によらない理由により工事中止または工事内容の大幅な変更が発生し工期が延長されたとき  
②橋梁、ポンプ、ゲート、エレベーター等の工場製作を含む工事であって、工場から現場へ工事の現場が移行する時点  
なお、いずれの場合も発注者と受注者との協議により、交代の時期は工程上一定の区切りと認められる時点とするほか、交代前後における主任（監理）技術者の技術力が同等以上に確保されるとともに、工事の規模、難易度等に応じ一定期間重複して工事現場に設置するなど、工事の継続性、品質確保等に支障がないと認められることが必要である。

### 第 5 節 情 報 共 有 シ ス テ ム の 利 用

1. 本工事は、受発注者間の情報を電子的に交換・共有することにより、業務の効率化を図る情報共有システムの対象である。
2. 本工事で使用する情報共有システムは次とする。  
広島県工事中情報共有システム  
<http://www.hdobokuk.or.jp/kouji/ivyohoushisutem2.html>
3. 受注者は、情報共有システムの利用対象としないことを希望する場合は、契約後すみやかに発注者にその旨を協議し、承諾を得ること。
4. 受注者は、情報共有システムの利用に当たり、（一社）広島県土木協会に利用申込みを行い、利用料を支払うものとする。
5. 受注者は、情報共有システムの利用に当たり、「情報共有システム利用手引（土木工事）」に基づき運用すること。

## 第 2 章 施 工

### 第 1 節 安 全 対 策

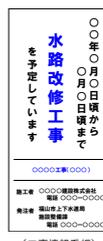
1. 片側交互通行及び通行止め等の交通制限を行う場合は、関係官公署の許可条件を遵守し、安全かつ円滑な交通を確保して事故発生のないように努めること。
2. 作業現場、作業用地内の整理整頓に留意して必要な安全施設の設置等を行い、関係者以外の立入りを禁止して危険防止に努めること。
3. 路面の補修及び転落防止対策に努めるなど、交通及び保安上の十分な措置を講じること。
4. 作業時間外（夜間等）に交通制限を行う場合は、その範囲を最小限とし夜間の保安施設は注意灯、回転灯及び防護柵等を設置して十分に配慮すること。
5. 施工に伴い事故が発生した場合は、迅速に所要の措置を講じるとともに、事故発生の原因及び経過、並びに事故による被害の内容等について、速やかに「事故等速報」等により、監督員に報告すること。

### 第 2 節 現 道 工 事 に お け る 保 安 施 設

1. 保安施設は、「広島県土木工事共通仕様書」による現道工事における保安施設設置図（案）及び保安施設設置基準を基本とし、現場条件等に応じ適切に実施すること。ただし、「工事表示板」及び「工事情報看板」、「工事説明看板」、「まわり道案内表示板」の標準様式については、次のとおりとする。なお、この標準様式によらない場合は、監督員と協議すること。
2. 保安施設のうち工事情報看板の設置時期については、工事現場周辺の住民及び道路利用者等に十分周知の図れるよう事前に設置すること。また、その他の保安施設の設置時期は、現場着手にあわせて適切な時期に設置すること。
3. 作業休止中（休日等）で通行に支障のない場合は、作業のないことの周知が図れるように標識等を撤去またはシート等でかくす等、措置すること。
4. 施工に伴い止むを得ず路面に段差が生じた状態で交通開放する場合は、通行者に周知が図れるよう警戒看板等を設置するとともに、通行者の安全に十分配慮すること。
5. 台風等により暴風雨等が予測される場合は、保安施設（工事看板等）が頑丈に固定されていることを確認するとともに、設置場所等の状況によっては、一時撤去し、飛散しないように最善の策を講ずること。
6. 「工事表示板」、「工事情報看板」、「工事説明看板」、「まわり道案内表示板」の標準様式については、次のとおりとする。なお、看板の寸法は、現場条件等に応じて適切な大きさとすること。



新しい路上工事看板（工事情報看板）



（工事情報看板）



（工事説明看板）



### 第3節 交通誘導警備員

1. 交通誘導警備員を配置するにあたって、安全かつ円滑な交通が確保できるよう状況を十分に把握し、現場条件に応じた適正人員の確保及び配置を行うこと。また、交通誘導警備員に対して、現場条件に関する教育等を行なうこと。
2. 受注者は工事現場の交通状況を十分に把握し、交通誘導警備員の休憩、休憩時間において交通誘導警備員が必要な場合は、監督員と協議を行って交替要員を配置するものとし、必要と認められる場合は契約変更できるものとする。
3. 交通誘導警備員の積上げ人数は、交通誘導の対象となる施工量に対し、作業日当日標準作業量から必要な人数を見込んでいる。従って、正当な理由がある場合を除き、施工実績等による交通誘導警備員の積み上げ人数の増員に対する変更は行なわない。また、工事実績の交通誘導警備員が減となった場合は、実績数量により変更を行なう。ただし、交通誘導警備員の対象となる施工量に増減等が生じた場合はこの限りでない。
4. 交通誘導警備員Aとは、警備業者の警備員（警備業法第2条第4項に規定する警備員をいう。）で、交通誘導警備業務（警備員等の検定等に関する規則第1条第4項に規定する交通誘導警備業務をいう。）に従事する交通誘導警備業務に係る一級検定合格警備員又は二級検定合格警備員をいう。
5. 交通誘導警備員Bとは、警備業者の警備員で、交通誘導警備員A以外の交通の誘導に従事するものをいう。
6. 「警備員等の検定等に関する規則」により、広島県公安委員会から認定告示（2020年10月1日広島県公安委員会告示第73号）のあった路線に係る交通誘導を実施する場合については、交通誘導警備員Aを誘導日あたり1名以上配置すること。

### 第4節 現場管理

1. 土留工の施工は、地盤変動に留意して適切に設置撤去すること。また、設置撤去の不良により地下埋設物、通行者及び隣接物等に損害を与えた場合は、受注者の責任により速やかに対処すること。
2. 埋戻工の施工は、十分な締固めを行うこと。また、埋戻し及び締固めの不良により地下埋設物、通行者及び隣接物等に損害を与えた場合は、受注者の責任により速やかに対処すること。
3. 施工方法、建設機械の騒音及び振動の大きさ、発生実態、発生機構等について十分理解し、工事現場及び現場周辺の状況に留意して施工すること。
4. 施工に伴い通常避けることができない損害等の発生が予想されるときは、速やかに監督員に協議すること。
5. 小黒板情報電子化対応ソフトウェアを使用する場合は、「土木工事共通仕様書（広島版）」に従い、工事契約後に監督員の承諾を得たうえで、使用する機器・ソフトウェア等について工事着手までに提出すること。また、工事完成時に小黒板情報の電子的記入を行った写真の信憑性確認を行い、その結果を監督員へ提出すること。

### 第5節 地下埋設物

1. 工事着手前には、地下埋設物及び地下構造物の調査を行うとともに、当該管理者に立会を求めてその位置を確認し、管理者の指示を遵守して埋設物及び構造物に損害を与えないよう注意して施工すること。

### 第6節 環境対策

1. 施工に伴う騒音、振動、大気汚染、水質汚濁等について、関係法令及び仕様書の規定を遵守の上、周辺地域の環境保全に努めるものとする。また、施工計画及び工事実施の各段階において十分検討して必要な措置を講じること。
2. 受注者は、大気汚染防止法に基づき本工事が特定工事に該当するかにについて、事前調査（設計図書その他の書面による調査、特定建築材料の有無の目視による調査等）を行いその結果を監督員に説明し、事前調査結果（受注者の名称、調査終了年月日、調査方法、調査結果等）を現場の公衆に見やすい場所に掲示すること。なお、掲示物の大きさは長さ42.0cm以上、幅29.7cm以上（A3用紙以上、縦長横長問わず）とする。また、監督員への説明書面の写し、及び事前調査の記録は、工事完了後3年間保存すること。
3. 資材等等の運搬にあたっては、運搬経路及び作業時間帯に留意すること。
4. 施工方法、建設機械の騒音及び振動の大きさ、発生実態、発生機構等について十分理解して、工事現場及び現場周辺の状況に留意すること。

### 第8節 工事用地

1. 本工事に必要な現場事務所及び資材置場等の用地は、全て受注者の責任と負担において確保すること。

## 第3章 建設副産物

### 第1節 建設発生土

1. 本工事に発生する建設発生土は、建設発生土処分先一覧表（広島県）に掲載されている建設発生土リサイクルプラント又は建設発生土受入地（一時的な積を含む。）のいずれかに搬出するものとする。  
また、搬出先として、運搬費と受入費（平日の受入費用）の合計が最も経済的になる建設発生土リサイクルプラント又は建設発生土受入地（一時的な積を含む。）を見込んでいる。したがって、正当な理由がある場合を除き処分先一覧表に要する費用（単価）は変更しない。  
なお、工事発注後に明らかになったやむを得ない事情により、建設発生土処分先一覧表（広島県）に掲載されている建設発生土リサイクルプラント又は建設発生土受入地（一時的な積を含む。）への搬出が困難となった場合は協議するものとする。
2. 搬出先においては、処分状況が確認できるよう、写真撮影を行なうとともに、計量伝票等を監督員に提出すること。

### 第2節 建設汚泥

1. 建設汚泥は、「廃棄物の処理及び清掃に関する法律」（以下「廃棄物処理法」という）を遵守し、適正に処理しなければならない。
2. 建設汚泥は、広島県及び廃棄物処理法政令市が、廃棄物処理法に基づき許可した適正な施設へ搬出し再資源化しなければならない。
3. 搬出先においては、許可看板と処分状況が確認できるよう、写真撮影を行なうとともに、伝票等を提出すること。また、必要に応じて現地確認、立入り調査等を行なうこと。
4. 再資源化に要する費用（運搬費を含む処分費）は、広島県及び廃棄物処理法政令市が廃棄物処理法に基づき許可した適正な施設のうち受入条件が合うものの中から、運搬費と受入費（平日の受入費用）の合計が最も経済的になるものを見込んでいる。従って、正当な理由がある場合を除き再資源化に要する費用（単価）は変更しない。

### 第3節 特定建設資材廃棄物（アスファルト塊、コンクリート塊等）

1. 特定建設資材廃棄物は、「廃棄物の処理及び清掃に関する法律」（以下「廃棄物処理法」という）を遵守し、適正に処理しなければならない。
2. 特定建設資材廃棄物は、広島県及び廃棄物処理法政令市が、廃棄物処理法に基づき許可した適正な施設へ搬出し再資源化しなければならない。
3. 搬出先においては、許可看板と処分状況が確認できるよう、写真撮影を行なうとともに、伝票等を提出すること。また、必要に応じて現地確認、立入り調査等を行なうこと。
4. 再資源化に要する費用（運搬費を含む処分費）は、広島県及び廃棄物処理法政令市が廃棄物処理法に基づき許可した適正な施設のうち受入条件が合うものの中から、運搬費と受入費（平日の受入費用）の合計が最も経済的になるものを見込んでいる。従って、正当な理由がある場合を除き再資源化に要する費用（単価）は変更しない。

### 第4節 「広島県土砂の適正処理に関する条例」に係る届出及び許可

1. 土砂の搬出  
建設発生土について、500m<sup>3</sup>以上（一時的な積場については500m<sup>3</sup>/月以上）の土砂を事業区域外へ搬出するときは、「広島県土砂の適正処理に関する条例」（平成16年広島県条例第1号、以下「広島県土砂条例」という。）第2章第3条に基づき、土砂の搬出に係る計画を定め、当該土砂の搬出を開始する日から起算して20日前（一時的な積場については、当該計画に係る月の初日の10日前）までに、福山市長へ届け出なければならない。
2. 埋立行為（埋立て、盛土、たい積）  
建設発生土について、事業区域外において土砂埋立区域の面積が2,000m<sup>2</sup>以上となる土砂の埋立行為を行う場合は、土砂埋立区域ごとに福山市長の許可を受けなければならない。

### 第5節 産業廃棄物の場外保管

1. 本工事に発生する産業廃棄物を事業場の外（建設工事現場以外の場所）において300m<sup>2</sup>以上の面積で保管する場合には、保管場所を所管する都道府県知事に事前の届出を行うこと。また、届出事項を変更する場合は事前に変更届を、保管をやめたときは30日以内に廃止届を提出すること。  
ただし、産業廃棄物処理業等の許可施設における保管は届出対象外とする。

## 第4章 設計金額

1. 広島県土木工事共通仕様書（令和6年8月）『1-1-1-31 環境対策』で使用を義務付けている排出ガス対策型建設機械においては、第2次基準値以上の建設機械の使用に努めること。なお、使用する排出ガス対策型建設機械について、基準値による設計変更は行わない。

## 第5章 熱中症対策

本工事は、工事現場の熱中症対策に資する経費に関して、現場管理費の補正を行う工事である。

1. 工期（工事の始期日から工事の終期日までの期間で、準備期間、施工に必要な実日数、不稼働日及び後片付け期間の合計をいう。なお、検査期間14日間、年末年始6日間（12月29日～1月3日）、夏季休暇3日間（国民の祝日である山の日の次の日から土曜日、日曜日及び振替休日を除く3日間とする。）、工場製作のみを実施している期間、工事全体を一時中止している期間は含まない。）期間中の真夏日の状況に応じて、変更契約時に現場管理費の補正を行うものとする。
2. 真夏日とは、日最高気温が30度以上の日をいう。また、日最高暑さ指数（WBGT）が25度以上の日をいう。ただし、夜間工事の場合は、作業時間帯の最高気温又は最高暑さ指数（WBGT）を対象とする。
3. 気温の計測箇所及び結果は、施工現場から最寄りの気象庁の地上気象観測所の気温又は環境省が公表している観測地点の暑さ指数（WBGT）を用いることを標準とする。  
なお、本工事において、上記地上観測所及び観測地点は、「福山」とすることを標準とする。
4. 受注者は、工事期間中における気温の計測箇所、用いる計測値及び計測期間（計測開始日、計測終了予定日）を明記した施工計画書を工事着手前に提出し、計測結果を工事完成時までに監督員に提出すること。
5. 受注者は、計測終了日について、工事完成時までに監督員と協議するものとする。
6. 積算方法は次のとおりとする。
  - (1) 補正方法
    - ア 受注者より提出された計測結果の資料を基に、補正値を算出し現場管理費率に加算する。ただし、現場管理費率の補正は、「積算寒冷地域で施工時期が冬期となる場合の補正」、「緊急工事の場合」及び本通知の補正値を合計し、2%を上限とする。
    - イ 真夏日率＝工期期間中の真夏日÷工期
    - ウ 補正値（%）＝真夏日率×1.2
  - (2) 補正値の計算結果は、パーセント表示で小数点3位を四捨五入して2位止めとする。
7. 受注者より、熱中症対策に資する現場管理費の補正が不要である旨の協議があった場合は、補正を行う工事から対象外とすることが出来る。
8. 検査員から修補の指示があった場合、修補期間は対象外とする。

## 第6章 その他

1. 本特記仕様書及び設計図書に明示していない事項、または、疑義が生じた場合は、その都度、速やかに監督員と協議を行なうこと。

# 施 工 条 件 表

対象工事名 : 大津野1号雨水枝線築造工事(4工区)

項目	事 項	該 当	内 容																				
① 計 画 準 備 関 係	施工計画書等の提出	● あり ○ なし	現場着手に先立ち、「広島県土木工事共通仕様書」に基づき施工計画書を作成し、監督員の確認を得ること。																				
		● あり ○ なし	現場着手に先立ち、「広島県土木工事共通仕様書」に基づき主要資材承認書を作成し、監督員の確認を得ること。																				
	変更図面の作成	● あり ○ なし	設計図書に基づき現地の測量等を行い、試験掘りの結果及び地下埋設物等の状況について照査し、管路の法線及び高さ等に変更が生じた場合は、変更図面を作成し、提出すること。																				
	取付ますの設置	○ あり ● なし	取付ますを設置できる権利がある関係者に対し、あらかじめ取付管及び取付ますの設置に関して十分に説明し、設置の有無及び設置場所の確認等を行い、「取付管及び取付ます設置確認書」を取得し、施工すること。また、取付ますの深さについても、十分検討すること。 なお、取得した「取付管及び取付ます設置確認書」は、完成図書とあわせて提出すること。																				
	誓約書の提出	● あり ○ なし	試験掘りに先立ち、水道管、ガス管、その他の地下埋設物に対し、施工による不測の事態に対処するため、各管理者に誓約書を提出すること。また、その誓約書の写しを提出すること。 なお、福山市上下水道局に提出する誓約書には、福山市上下水道局指定の配水本管工事施工資格業者を誓約業者として指定すること。																				
	協議	● あり ○ なし	次のとおり、関係機関及び地域住民等との協議を行うこと。																				
			<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 15%;">関係機関</th> <th style="width: 15%;">事 項</th> <th style="width: 50%;">協議の内容</th> <th style="width: 20%;">備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>関係機関</td> <td>関係法令</td> <td>関係法令に対する、届出、許可など</td> <td></td> </tr> <tr> <td>沿線商店</td> <td>車両出入口</td> <td>施工時間及び作業時間外の交通規制形態</td> <td></td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td>施工方法等</td> <td>地元関係者（土木常設員、町内会役員、水利役員）、その他関係者への説明</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	関係機関	事 項	協議の内容	備考	関係機関	関係法令	関係法令に対する、届出、許可など		沿線商店	車両出入口	施工時間及び作業時間外の交通規制形態		その他	施工方法等	地元関係者（土木常設員、町内会役員、水利役員）、その他関係者への説明					
		関係機関	事 項	協議の内容	備考																		
		関係機関	関係法令	関係法令に対する、届出、許可など																			
		沿線商店	車両出入口	施工時間及び作業時間外の交通規制形態																			
その他	施工方法等	地元関係者（土木常設員、町内会役員、水利役員）、その他関係者への説明																					
段階確認	● あり ○ なし	施工の重要な段階において、監督員の段階確認を受け、適切に実施すること。 なお、段階確認の工種及び時期、箇所等については、監督員と事前に協議すること。																					
	○ あり ● なし																						

項目	事項	該当		内容											
② 工程関係	工事期間	●	あり	○	なし	工事期間は、次のとおりの期間の合計としている。また、本工事着手までの準備期間とし40日間を、検査期間は14日間を見込んでいる。 なお、この工事期間には、雨天、休日等（作業期間内の全土曜日及び日曜日、並びに休暇等）を含んでいる。									
						<input checked="" type="checkbox"/>	準備期間	<input checked="" type="checkbox"/>	本工事施工期間	<input checked="" type="checkbox"/>	建物等調査期間	<input checked="" type="checkbox"/>	変更協議期間	<input type="checkbox"/>	
						<input checked="" type="checkbox"/>	後片付け期間	<input checked="" type="checkbox"/>	検査期間	<input checked="" type="checkbox"/>	水道管移設期間	<input checked="" type="checkbox"/>	ガス管移設期間	<input type="checkbox"/>	
	関連する別途工事	●	あり	○	なし	本工事に関連して、次の工事が施工、施工予定とされているため、相互に連絡・調整等を密にし施工すること。									
						関連工事の名称		発注者名		予定期間		備考			
						水道管移設工事		福山市上下水道局		2025年9月～2025年10月					
						ガス管移設工事		福山ガス株式会社		2025年8月～2025年9月					
	制約条件	●	あり	○	なし	施工時期、施工時間及び施工方法に制約条件があるため、次のとおり、適切な処置を行うこと。									
						場所	制約の要因	制約の内容			備考				
						全体	円滑な交通の確保	施工時間帯は昼間とし、道路使用許可条件を遵守するものとする。							
	○	あり	●	なし											
③ 用地関係	借地	●	あり	○	なし	次のとおり、借地を見込んでいる。									
						場所	目的	面積	使用後の処置	備考					
						福山市大門町二丁目付近	駐車場	180m <sup>2</sup>	原形復旧						
	工事用地	○	あり	●	なし	工事区間において、次のとおり、一部未処理用地がある。									
						場所	面積	協議内容	完了見込時期	備考					
	○	あり	●	なし											

項目	事項	該当		内容							
④ 周辺環境保全関係	建設公害の処置	●	あり	○	なし	騒音・振動・粉塵・その他の防止のため、次のとおり、適切な処置を行うこと。					
						項目	処理方法		備考		
						建設機械（全般）	排ガス対策型（第1次基準値）の使用				
	建物等の調査	●	あり	○	なし	一部の区間において、第三者に何らかの影響を及ぼすことが懸念されるため、次のとおり、発注者において近接する建物等の調査を実施する予定としている。 なお、調査箇所等を変更する必要がある場合は、別途、協議すること。					
						調査内容	調査項目	数量	備考		
						建物等調査	事前調査	4件	発注者の調査		
	井戸の調査及びその他の調査等	○	あり	●	なし	一部の区間において、第三者に何らかの影響をおよぼすことが懸念されるため、次のとおり、事前に井戸調査及びその他の調査等を実施し、調査結果（計量証明書等）を監督員に提出すること。 なお、調査箇所等を変更する必要がある場合は、別途、協議すること。					
						調査内容	調査項目	数量	備考		
	六価クロム溶出試験の実施	○	あり	●	なし	次のとおり、「六価クロム溶出試験」を実施し、試験結果（計量証明書）を監督員に提出すること。 試験方法は、セメント及びセメント系固化材を使用した改良土の六価クロム溶出試験要領による。 なお、土質条件、施工条件等により試験方法、検体数に変更が生じた場合は、監督員と協議すること。					
						場所	工種	配合設計段階検体数	施工後段階検体数	工法	備考
	濁水・湧水の処理	●	あり	○	なし	施工に伴い発生する濁水・湧水は、水槽等の沈砂池により適切に処理し、排水すること。					
	○	あり	●	なし							

項目	事項	該当		内容				
⑤ 安全対策関係	近接施工	○ あり	● なし	重要施設に近接した施工となるため、次のとおり、適切に管理を行うこと。				
				場所	近接する施設	条件	備考	
	作業時間内の埋戻復旧	○ あり	● なし	作業時間外は交通開放するため、掘削・埋戻は即日を実施すること。 また、作業時間内に埋戻し・仮復旧を完了させ、作業時間外は掘削に伴う開口部を残さないこと。 なお、不測の事態により、埋戻復旧ができない場合は、警察等の関係機関へ連絡し、監督員に報告すること。 掘削・埋戻・仮復旧に係る割増を見込んでいる。				
⑥埋戻関係	処理土	○ あり	● なし	処理土の購入先は、建設発生土リサイクルプラントを見込んでいる。				
	流用土（現場内流用）	○ あり	● なし					
	流用土（他工事流用）	○ あり	● なし	埋戻土は、次のとおり、他工事の発生土を流用する予定としている。 なお、止むを得ない事情により、これにより難しい場合は、別途、協議すること。				
				他工事名	搬入場所	搬入時期	備考	
	RC-40	● あり	○ なし	埋戻土は、RC-40を使用すること。				
	品質管理	○ あり	● なし	品質管理頻度	埋戻土量	試験回数	試験方法	(次のいずれか)
50～100m3未満					1回	簡易貫入試験 (土研式円すい貫入試験)		市道 14回以上/10cm
100～500m3未満					2回			県道 17回以上/10cm
500～1000m3未満					3回	現場密度試験		90%以上 (複数回の場合異なる層、位置で実施)
1000m3以上	3回以上							

項目	事項	該当		内容					
⑦ 建設副産物関係	建設発生土	<input checked="" type="radio"/>	あり	<input type="radio"/>	なし	当該工事により発生する建設発生土は、広島県が公表する建設発生土処分先一覧表に記載されている建設発生土リサイクルプラント、建設発生土受入地又は建設発生土受入地（一時たい積）に搬出するものとする。			
	建設汚泥（泥土）	<input type="radio"/>	あり	<input checked="" type="radio"/>	なし	建設汚泥（泥土）は、次の運搬先を見込んでいる。			
						種別	搬出場所	運搬距離	備考
	建設汚泥（泥水）	<input type="radio"/>	あり	<input checked="" type="radio"/>	なし	建設汚泥（泥水）は、次の運搬先を見込んでいる。			
						種別	搬出場所	運搬距離	備考
	特定建設資材の廃棄物	<input checked="" type="radio"/>	あり	<input type="radio"/>	なし	特定建設資材の廃棄物は、次の運搬先を見込んでいる。			
種別						搬出場所	運搬距離	備考	
アスファルト殻						福山市大門町野々浜沖浦山482-1	仕様書のとおり		
コンクリート殻						福山市芦田町上有地7257-1	仕様書のとおり		
建設副産物情報交換システム	<input checked="" type="radio"/>	あり	<input type="radio"/>	なし	建設副産物情報交換システムの登録対象工事である。				
広島県土砂の適正処理に関する条例	<input type="radio"/>	あり	<input checked="" type="radio"/>	なし	「広島県の土砂の適正処理に関する条例」に係る届出及び許可の対象となる工事である。				
	<input type="radio"/>	あり	<input checked="" type="radio"/>	なし					
	<input type="radio"/>	あり	<input checked="" type="radio"/>	なし					

項目	事項	該当		内容						
⑧ 仮設関係	土留	●	あり	○	なし	次のとおり、土留を見込んでいます。なお、開削工における建込土留については任意仮設とする。仮設方法は土質条件・現場条件および周辺環境を考慮し施工管理・出来形管理を行うこと。				
						場所	工法	土留種別	備考	
						開削工	軽量鋼矢板打込工	軽量鋼矢板Ⅲ型	ヒベিং、ボリソグの恐れのない砂質、礫質、粘性土	
	仮設(土留)材料の残置	●	あり	○	なし	次のとおり、工事終了後も仮設(土留)材料を残置すること。				
						場所	仮設材料名	残置の形態	数量	備考
						水路築造部	軽量鋼矢板Ⅲ型	計画地盤-1.0m	45.6 m	
	路面覆工	○	あり	●	なし	作業時間以外は交通開放するため、次のとおり、路面覆工を見込んでいます。				
						場所	覆工幅	覆工延長	仕様	備考
覆工材料の残置	○	あり	●	なし	別途工事で引き続いて使用するため、次のとおり、工事終了後も覆工材料を残置すること。					
					場所	仕様	数量	付属部材	備考	
水替	●	あり	○	なし	施工に伴う湧水について、水替ポンプにより排水することを見込んでいます。					
仮設電力設備	●	あり	○	なし	次のとおり、仮設電力設備を見込んでいます。					
					場所	設備の種類			備考	
					開削水替工	<input checked="" type="checkbox"/> 発動発電機	<input type="checkbox"/> 低圧受電	<input type="checkbox"/> 高圧受電		
						<input type="checkbox"/> <del>発動発電機</del>	<input type="checkbox"/> <del>低圧受電</del>	<input type="checkbox"/> <del>高圧受電</del>		
一般搬入道路	●	あり	○	なし	一般道路を搬入路として使用するにあたり、次のとおり、適切に処置すること。					
					搬入道路	期間	時間	工事中・後の処置	備考	
					全ての道路	工事期間	8時～17時	随時路面等の清掃、工事後舗装等の欠損部補修	処置は使用に伴い影響があった場合	
仮設道路	○	あり	●	なし	仮設道路を設置・使用するにあたり、次のとおり、適切に処置すること。					
					期間	安全施設	使用中の処置	使用後の処置	備考	

項目	事項	該当		内容				
⑨ 工事支障物件関係	試験掘り	○ あり	● なし	施工に先立ち、地下埋設物等の位置を確認するため、次のとおり試験掘りを行うこと。				
				場所	確認物件	方法		備考
	本工事に含まれる移設工事	○ あり	● なし	本工事では、次の移設工事を含んでいる。				
				場所	移設物件	移設の形態		設計見込金額（税抜）
	工事支障物件	● あり	○ なし	次の物件について、工事の支障となる可能性があることを見込んでいる。 なお、試験掘り等の結果により、別途、協議を行うこと。				
				場所	支障物件	内容		備考
				開削部	水道管・ガス管	別途協議		
	○ あり	● なし						
⑩ 地盤改良・推進関係	薬液注入	○ あり	● なし	次のとおり、薬液注入工法を見込んでいる。なお、注入対象範囲は標準的なものを表している。注入率・注入割合はグラウト協会を参照している。現場条件に合わせて実施すること。				
				場所	数量・区分等	工法	プラント	備考
	推進工法	○ あり	● なし	次のとおり、推進工法を見込んでいる。				
				区間		工法		備考
		○ あり	● なし					

項目	事項	該当		内容
⑪ その他	取付ますの請求額	<input type="radio"/> あり	<input checked="" type="radio"/> なし	
	その他の図面	<input type="radio"/> あり	<input checked="" type="radio"/> なし	福山市上下水道局の「福山市下水道構造標準図」（2023年4月1日改訂版）に基づき、適切に実施すること。
	マンホール及び取付管の位置調査	<input type="radio"/> あり	<input checked="" type="radio"/> なし	
	工事完成のお知らせ	<input type="radio"/> あり	<input checked="" type="radio"/> なし	完成検査が終了した後、工事沿線の関係者に対して「下水道工事完成のお知らせ」を配布すること。
		<input type="radio"/> あり	<input checked="" type="radio"/> なし	
		<input type="radio"/> あり	<input checked="" type="radio"/> なし	
		<input type="radio"/> あり	<input checked="" type="radio"/> なし	
		<input type="radio"/> あり	<input checked="" type="radio"/> なし	

# 総括情報表

変更回数 適用単価地区 単価適用日  諸経費体系	0 70 福山市 00-07.06.01(0)  1 公共(一般)	凡例 Co … コンクリート      As … アスファルト DT … ダンプトラック      BH … バックホウ CC … クローラクレーン      TC … トラッククレーン RTC… ラフテレーンクレーン
	当世代 31 下水道工事 (2) 02 市街地(DID補正) 00 補正なし 00 補正なし 00 補正なし 00 補正なし 00 補正なし 00 補正なし 00 通常工事 0% 00 補正無し 01 金銭的保証(0.04%)	前世代
建設技能労働者や交通誘導員等の現場労働者にかかる経費として、労務費のほか各種経費（法定福利費の事業者負担額，労務管理費，安全訓練等に要する費用等）が必要であり，本積算ではこれらを現場管理費等の一部として率計上している。		

# 本工事費 内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
本工事費					X1000
管路施設(開削工法)					Y1101 レベル1
管きょ工(開削)	1	式			Y110101 レベル2
管路土工	1	式			Y11010101 レベル3
管路掘削	1	式			Y1101010101 レベル4
床掘り 土砂 上記以外(小規模)	80	m3			SPK24040015 00 単第0 -0001 表
管路埋戻		式			Y1101010102 レベル4
埋戻し 土砂 上記以外(小規模)	50	m3			SPK24040020 00 単第0 -0002 表
再生クラッシュラン 40~0mm	60	m3			T0247 00

# 本工事費 内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
コンクリート 無筋・鉄筋構造物 18-8-25(20)BB バックホウ(クレーン機能付)打設	25	m3			SPK24040153 00  単第0 -0003 表
発生土処理		式			Y1101010103レベル4
土砂等運搬 小規模 土砂(岩塊・玉石混り土含む) DID区間有り 距離3.0km以下(2.0km超)	80	m3			SPK24040002 00  単第0 -0004 表
【直接工事費に含まれる処分費等】 「処分費等」の取扱いによる					#0041
発生土受入費 砂質土	80	m3			F0001 00
水路築造工	1	式			Y11010104 レベル3
水路築造工		m			Y1101010401レベル4
自由勾配側溝 据付 材料別途 1000 < 重量 2000	56.3	m			VDT00015 00  単第0 -0005 表
自由勾配側溝 据付 材料別途 1000 重量	0.8	m			VDT00016 00  単第0 -0006 表

# 本工事費 内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
自由勾配側溝_ふた2枚掛製品_側溝本体 600*900*2000 参考質量1024kg	10	本			T2160087 00
自由勾配側溝_ふた2枚掛製品_側溝本体 600*1000*2000 参考質量1234kg	11	本			T2160089 00
自由勾配側溝 600×1,000(横断) L=2,000	3	本			F0000003330 00
自由勾配側溝 600×1,000(暗渠) L=768	1	本			F0000003331 00
自由勾配側溝 600×1,000(暗渠) L=1,300	1	本			F0000003332 00
自由勾配側溝 600×1,000(暗渠) L=1,583	1	本			F0000003333 00
自由勾配側溝 600×1,000(135°コーナー)	4	本			F0000003334 00
蓋版 材料別途 40<重量 170	22	枚			SDT00017 00 単第0 -0007 表
蓋版 材料別途 40<重量 170	2	枚			SDT00017 00 単第0 -0007 表

# 本工事費 内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
蓋版 材料別途 40<重量 170	10	枚			SDT00017 00 単第0 -0007 表
蓋版 材料別途 40<重量 170	3	枚			SDT00017 00 単第0 -0007 表
蓋版 材料別途 40<重量 170	2	枚			SDT00017 00 単第0 -0007 表
自由勾配側溝_ふた2枚掛製品 車道用ふた600用(700×140×500) 参考質量109kg	22	枚			T2190091 00
コンクリート蓋 B600(135°コーナー用)	2	枚			F0000004001 00
グレーチング蓋 T-25 細目 600×1000	10	枚			F0000004000 00
グレーチング蓋 T-25 細目 横断 600×1000	3	枚			F0000004002 00
グレーチング蓋 T-25 細目 600 (135°コーナー用)	2	枚			F0000004003 00
自由勾配側溝 基礎材類 基礎碎石 基礎Co インバートCo	1	式			V0000004000 00 単第0 -0008 表

# 本工事費 内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
集水桝工 6号接合桝 700×700	1	基			V0000003000 00 単第0 -0009 表
集水桝工 7号接合桝 700×700	1	基			V0000005000 00 単第0 -0012 表
集水桝工 8号接合桝 800×800	1	基			V0000002000 00 単第0 -0013 表
管路土留工	1	式			Y11010105 レベル3
鋼矢板土留(軽量鋼矢板)		式			Y1101010510レベル4
軽量鋼矢板油圧圧入工	137	枚			SG1D0033005 00 単第0 -0017 表
油圧式杭圧入引抜機据付解体工	1	回			SG1D0033007 00 単第0 -0019 表
鋼矢板切断工 土留種類 2型	46	m			SG1D0144001 00 単第0 -0020 表
軽量鋼矢板 撤去部分	3.2	t			F0009 00

# 本工事費 内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
軽量鋼矢板 未撤去部分	14.4	t			F0010 00
付帯工	1	式			Y110106 レベル2
道路付属物復旧工	1	式			Y11010607 レベル3
地先境界ブロック	1	式			Y1101060710 レベル4
縁石工 特殊縁石（滑り止め付）	12	m			V0000006000 00 単第0 -0021 表
コンクリート		m3			Y1101060701 レベル4
土間コンクリート 無筋・鉄筋構造物 18-8-25(20)BB 人力打設	1	m3			SPK24040153 00 単第0 -0025 表
溶接金網<JISG3551> 線径6.0, 網目150×150mm 単位質量3.11kg/m2	10	m2			TTPC00223 00
張コンクリート 無筋・鉄筋構造物 18-8-25(20)BB 人力打設	0.1	m3			SPK24040153 00 単第0 -0026 表

# 本工事費 内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
目地板 1工事当り使用量30m2未満 瀝青繊維質目地板 t=10mm	0.6	m2			SPK24040122 00  単第0 -0027 表
道路付属物撤去工	1	式			Y11010606 レベル3
排水構造物撤去B		箇所			Y1101060614 レベル4
舗装版切断 コンクリート舗装版 コンクリート舗装版厚15cm以下	10	m			SPK24040306 00  単第0 -0028 表
構造物とりこわし工(無筋構造物) 機械施工	26	m3			SDT00031 00  単第0 -0029 表
構造物とりこわし工(鉄筋構造物) 機械施工	5	m3			SDT00033 00  単第0 -0030 表
殻運搬処理		m3			Y1101060620 レベル4
殻運搬 Co(無筋)構造物とりこわし DID区間有り 運搬距離23.2km以下(18.5km超)	26	m3			SPK24040151 00  単第0 -0031 表
殻運搬 Co(鉄筋)構造物とりこわし DID区間有り 運搬距離23.2km以下(18.5km超)	5	m3			SPK24040151 00  単第0 -0032 表

# 本工事費 内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
【直接工事費に含まれる処分費等】 「処分費等」の取扱いによる					#0041
Co殻受入費 無筋	26	m3			F0003 00
Co殻受入費 鉄筋	5	m3			F0007 00
防護柵撤去工(ガードパイプ)		m			Y1101060616レベル4
防護柵設置工(Gp) 防護柵撤去 コンクリート建込	21	m			SS000137 00 単第0 -0033 表
現場発生品及び支給品運搬 クレーン装置付BT2t級2.9t吊 片道運搬距離7.0km以下(5.0km超)	0.5	t			SPK24040410 00 単第0 -0034 表
【機器単体費】 共通仮設費[対象外]，現場管理費[対象外] 一般管理費[対象外]					#0046
スクラップ	0.5	t			F0005 00
道路付属物撤去工	1	式			Y11010607 レベル3

# 本工事費 内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
車止めポスト		本			Y1101060712レベル4
車線分離標(固定式)(貼付式) 撤去 [規]10本未満	2	本			SS000095 00 単第0 -0035 表
舗装撤去工	1	式			Y11010601 レベル3
舗装版切断		m			Y1101060101レベル4
舗装版切断 アスファルト舗装版 アスファルト舗装版厚15cm以下	63	m			SPK24040306 00 単第0 -0036 表
舗装版破碎(小規模)		m2			Y1101060103レベル4
舗装版破碎積込(小規模土工)	57	m2			SPK24040018 00 単第0 -0037 表
殻運搬処理		m3			Y1101060105レベル4
殻運搬 舗装版破碎 DID区間有り 運搬距離3.0km以下(2.5km超)	3	m3			SPK24040151 00 単第0 -0038 表

# 本工事費 内訳表

費目・工種・施工名称など 【直接工事費に含まれる処分費等】 「処分費等」の取扱いによる	数量	単位	単価	金額	備考
As殻受入費					#0041
	3	m3			F0002 00
舗装仮復旧工					Y11010604 レベル3
	1	式			
下層路盤(歩道部)					Y1101060403 レベル4
		m2			
下層路盤(歩道部) 全仕上り厚100mm 1層施工 RC-30	41	m2			SPK24040233 00 単第0 -0039 表
上層路盤(歩道部)					Y1101060405 レベル4
		m2			
上層路盤(歩道部) 全仕上り厚100mm 1層施工 RM-30	41	m2			SPK24040235 00 単第0 -0040 表
表層(歩道部)					Y1101060409 レベル4
		m2			
表層(歩道部) 平均幅員1.4m未満(1層平均50mm以下) 1層当り平均仕上厚50mm	41	m2			SPK24040244 00 単第0 -0041 表

# 本工事費 内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
場所打水路工					Y1G020507 レベル3
	1	式			
現場打水路 【内幅,内高,Co規格】					Y1G02050701 レベル4
		m			
側溝清掃(人力清掃工) 無蓋					SPK24040364 00
	120	m			単第0 -0042 表
コンクリート 無筋・鉄筋構造物 18-8-25(20)BB 人力打設					SPK24040153 00
	10	m3			単第0 -0022 表
土留・仮締切工					Y1G023004 レベル3
	1	式			
土のう積					Y1G02300420 レベル4
		m2			
土のう拵え,積立,撤去工 小口並べ					S1012 00
	0.8	m2			単第0 -0043 表
開削水替工					Y11010109 レベル3
	1	式			
開削水替					Y1101010901 レベル4
		式			

# 本工事費 内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
ポンプ運転工					SG1D0042001 00
	24	日			単第0 -0044 表
据付・撤去工					SG1D0042002 00
	1	現場			単第0 -0046 表
仮設工					Y1E0115 レベル2
	1	式			
交通管理工					Y1E011521 レベル3
	1	式			
交通誘導警備員					Y1E01152101 レベル4
		人			
交通誘導警備員B 3人配置・6人配置					R0369 00
	129	人			
** 直接工事費 ** #0020計=支給品等(材料),無償貸付					
役務費					Z0003
役務費					YZZ03 レベル2
	1	式			

# 本工事費 内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
役務費					YZZ03001 レベル3
	1	式			
借地料 土地の借上げ等に要する費用					YZZ03001001 レベル4
		式			
借地料					F0006 00
	1	式			
共通仮設費率分					Z0019
計算情報..... 対象額..... 率.....					率参照額.....
** 共通仮設費計 **					
** 純工事費 **					
現場管理費 計算情報..... 対象額..... 率.....					率参照額.....
** 工事原価 **					

# 本工事費 内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
一般管理費率分 計算情報..... 対象額..... 率.....					前払補正率... 率参照額.....
契約保証費 計算情報..... 対象額..... 率.....					当初請対額 当初対象額
一般管理費計					
** 工事価格 **					
** 消費税相当額 ** 計算情報..... 対象額..... 率.....					
** 工事費 **					

# 費目1 内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
費目1					X3000
管路施設(開削工法)	1	式			Y1101 レベル1
付帯工	1	式			Y110106 レベル2
舗装撤去工	1	式			Y11010601 レベル3
舗装版切断	1	式			Y1101060101 レベル4
舗装版切断 アスファルト舗装版 アスファルト舗装版厚15cm以下	24	m			SPK24040306 00 単第0 -0036 表
舗装版破碎		m2			Y1101060102 レベル4
舗装版破碎 アスファルト舗装版 障害等無し 舗装版厚15cm以下	390	m2			SPK24040305 00 単第0 -0047 表
殻運搬処理		m3			Y1101060105 レベル4

# 費目1 内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
殻運搬 舗装版破碎 DID区間有り 運搬距離3.5km以下(1.5km超)	20	m3			SPK24040151 00  単第0 -0048 表
【直接工事費に含まれる処分費等】 「処分費等」の取扱いによる					#0041
As殻受入費	20	m3			F0002 00
舗装復旧工	1	式			Y11010603 レベル3
不陸整正		m2			Y1101060301 レベル4
不陸整正 補足材料無し	390	m2			SPK24040231 00  単第0 -0049 表
表層(車道・路肩部)		m2			Y1101060308 レベル4
表層(車道・路肩部) 平均幅員3.0m超 1層当り平均仕上厚50mm	390	m2			SPK24040241 00  単第0 -0050 表
区画線工	1	式			Y11010605 レベル3

# 費目1 内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
溶融式区画線					Y1101060501 レベル4
区画線設置(溶融式) 実線_15cm	143	m			VDT00001 00 単第0 -0051 表
区画線設置(溶融式) ゼブラ_30cm	3	m			VDT00002 00 単第0 -0052 表
区画線設置(溶融式) 矢印・記号・文字_15cm換算	13	m			VDT00003 00 単第0 -0053 表
仮設工	1	式			Y1E0115 レベル2
交通管理工	1	式			Y1E011521 レベル3
交通誘導警備員					Y1E01152101 レベル4
交通誘導警備員B 3人配置・6人配置	15	人			R0369 00
** 直接工事費 ** #0020計=支給品等(材料),無償貸付					

# 費目1 内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
共通仮設費率分					Z0019
計算情報..... 対象額..... 率.....					率参照額.....
** 共通仮設費計 **					
** 純工事費 **					
現場管理費					
計算情報..... 対象額..... 率.....					率参照額.....
** 工事原価 **					
一般管理費率分					
計算情報..... 対象額..... 率.....					前払補正率... 率参照額.....
契約保証費					
計算情報..... 対象額..... 率.....					当初請対額 当初対象額
一般管理費計					

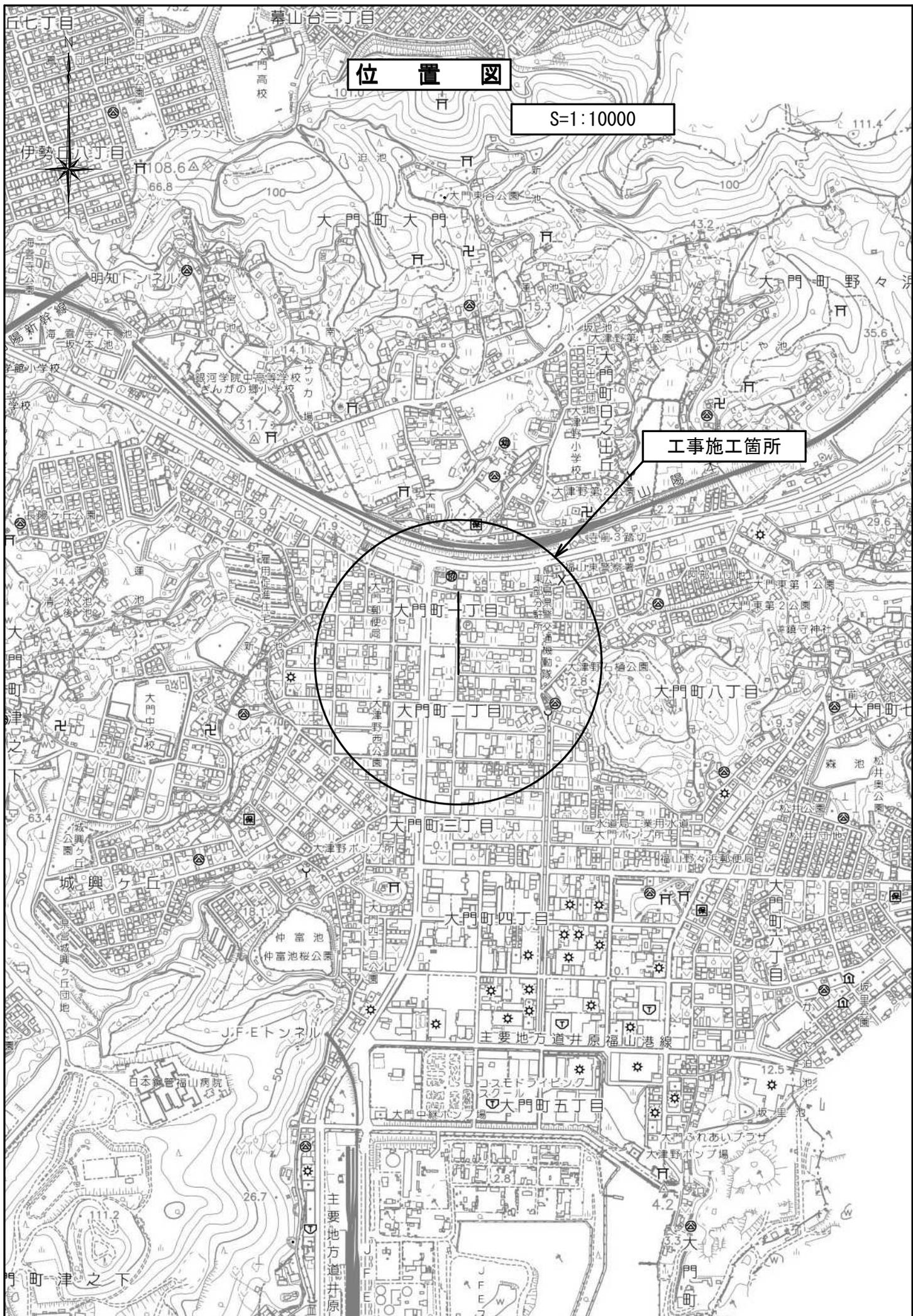
# 費目1 内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
** 工事価格 **					
** 消費税相当額 ** 計算情報..... 対象額..... 率.....					
** 工事費 **					
** 工事費計 **					
** 契約保証費計 **					

# 位置図

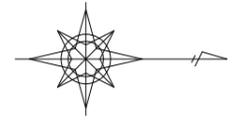
S=1:10000

工事施工箇所

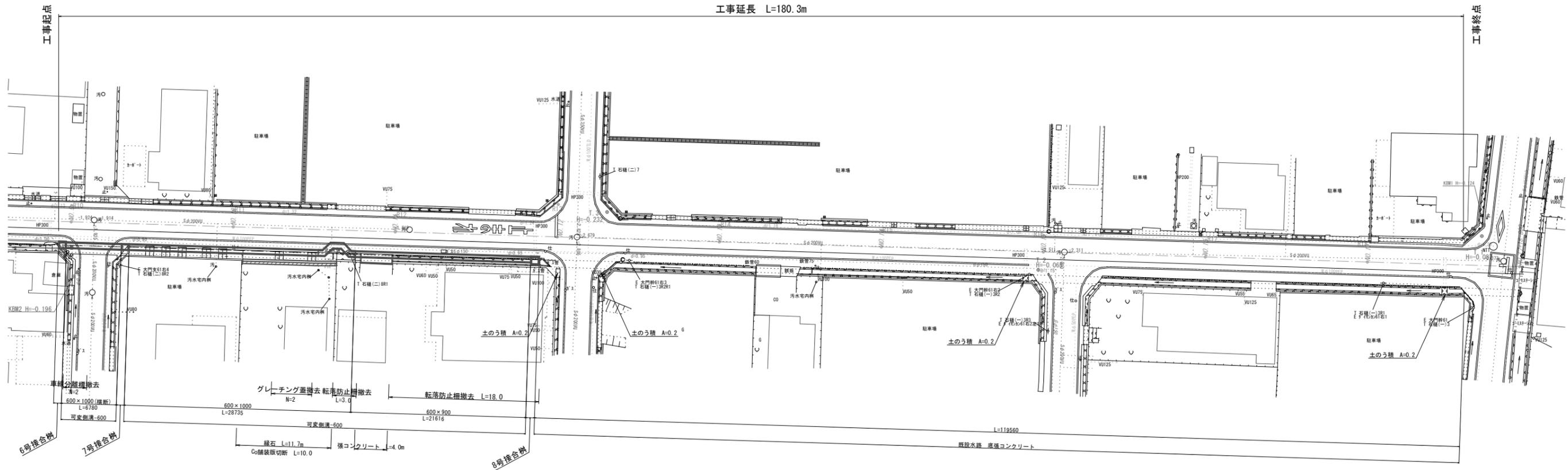


図面番号	1 / 9	縮尺	S=1:250
工種	大津野1号雨水枝線築造工事(4工区)		
種別	平面図	番号	/
路線名	大門79号線		
工事箇所	福山市大門町一丁目及び大門町二丁目地内		
福山市上下水道局			

原図サイズ: A1 設計年月: 2025年6月

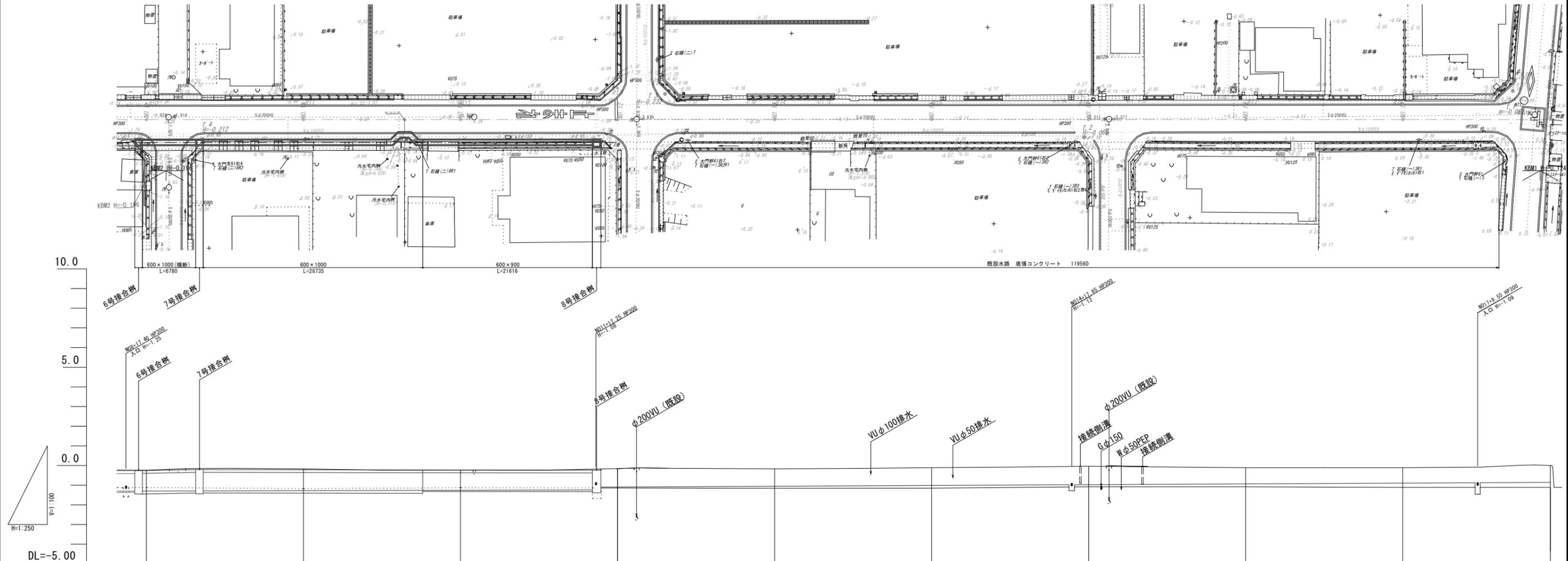


工事延長 L=180.3m



図面番号	2 / 9	縮尺	S=1:100
工種	大津野1号雨水枝線築造工事(4工区)		
種別	縦断面図	番号	/
路線名	大門79号線		
工事箇所	福山市大門町一丁目及び大門町二丁目地内		
福山市上下水道局			

原図サイズ：A1 設計年月：2025年6月



勾配	-1.30% L=6.780m		-1.00% L=49.560m		-1.24% L=1.100m		-2.00% L=59.620m		-0.88% L=51.020m		-0.87% L=8.920m				
断面	600×1000(横断) L=6780		600×1000 L=28735		600×900 L=21616		既設水路 底張コンクリート					既設水路 底張コンクリート			
床掘															
計画高	-1.301	-1.301	-1.294	-1.294	-1.261	-1.244	-1.100	-1.016	-0.896	-0.896	-0.877	-0.858			
地盤高	-0.260	-0.260	-0.210	-0.210	-0.218	-0.240	-0.170	-0.110	-0.110	-0.110	-0.088	0.000			
追加距離	0.000	0.970	7.750	8.720	21.480	58.280	59.360	61.480	101.480	119.880	161.480	170.380			
単距離	0.970	0.510	6.270	0.970	20.000	16.800	1.080	2.120	20.000	17.500	20.000	8.920			
測点	No.8 +18.520	No.9 +19.400	No.9 +6.270	No.9 +7.240	No.10 -20.000	No.11 +16.800	No.11 +17.880	No.12 2.120	No.13 -20.000	No.14 -20.000	No.15 +18.200	No.15 +9.860	No.16 -20.000	No.17 +9.860	No.17 +18.200

図面番号	3 / 9	縮尺	S=1:100
工種	大津野1号雨水枝線築造工事(4工区)		
種別	横断図	番	3
路線名	大門79号線		
工事箇所	福山市大門町一丁目及び大門町二丁目地内		
福山市上下水道局			

原図サイズ: A1 設計年月: 2025年6月

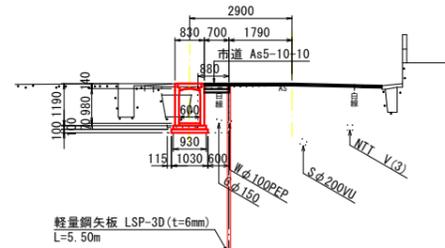
T1	舗装取壊し(掘削時)
W1	表層As(20) t=5cm
W2	上層路盤(RM-30) t=10cm
W3	下層路盤(RC-30) t=10cm

工事起点

N09

GH=-0.256  
FH=-1.300

600\*1000(横断)



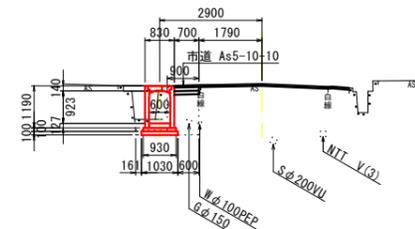
T1=0.88m W1=0.70m  
W2=0.70m  
W3=0.70m

床掘	1.26 m <sup>2</sup>
埋戻し	0.82 m <sup>2</sup>
埋戻Co	0.42 m <sup>2</sup>
Co取壊(無筋)	0.41 m <sup>2</sup>
Co取壊(鉄筋)	0.24 m <sup>2</sup>

N010

GH=-0.218  
FH=-1.281

600\*1000



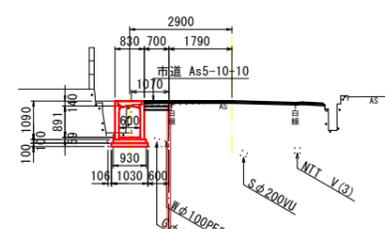
T1=0.90m W1=0.70m  
W2=0.70m  
W3=0.70m

床掘	1.34 m <sup>2</sup>
埋戻し	0.83 m <sup>2</sup>
埋戻Co	0.46 m <sup>2</sup>
Co取壊(無筋)	0.54 m <sup>2</sup>
Co取壊(鉄筋)	

N011

GH=-0.230  
FH=-1.261

600\*900



T1=1.07m W1=0.70m  
W2=0.70m  
W3=0.70m

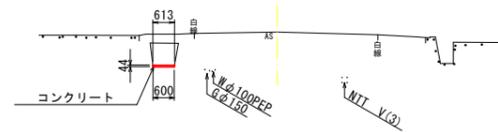
床掘	1.30 m <sup>2</sup>
埋戻し	0.75 m <sup>2</sup>
埋戻Co	0.37 m <sup>2</sup>
Co取壊(無筋)	0.32 m <sup>2</sup>
Co取壊(鉄筋)	

A=0.03m<sup>2</sup>

底張Co  
L=2.12m

N012

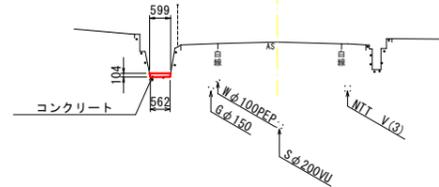
GH=-0.160  
FH=-1.096



DL=-5.00

N013

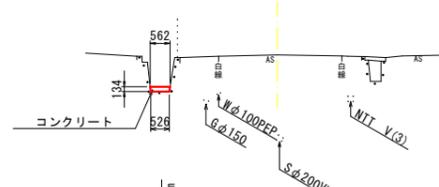
GH=-0.170  
FH=-1.056



DL=-5.00

N014

GH=-0.110  
FH=-1.016



DL=-5.00

A=0.06m<sup>2</sup>

底張Co  
L=17.50m

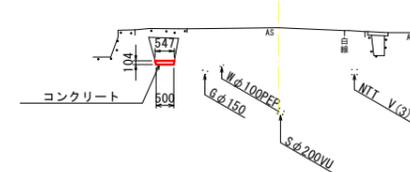
床掘	
埋戻し	
Co取壊	
底張Co	0.07 m <sup>2</sup>

A=0.05m<sup>2</sup>

底張Co  
L=1.80m

N015

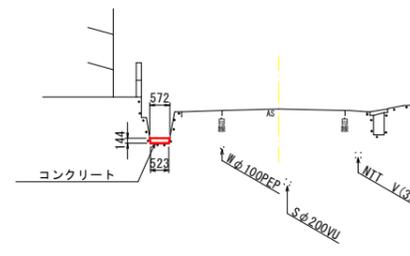
GH=-0.040  
FH=-0.940



DL=-5.00

N016

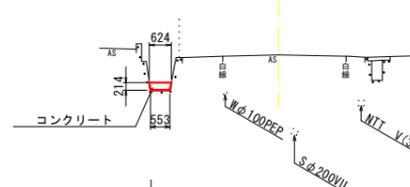
GH=-0.110  
FH=-0.936



DL=-5.00

N017

GH=-0.110  
FH=-0.896



DL=-5.00

A=0.13m<sup>2</sup>

底張Co  
L=9.22m

A=0.13m<sup>2</sup>

底張Co  
L=8.92m

A=0.14m<sup>2</sup>

床掘	
埋戻し	
Co取壊	
底張Co	0.13 m <sup>2</sup>

工事終点

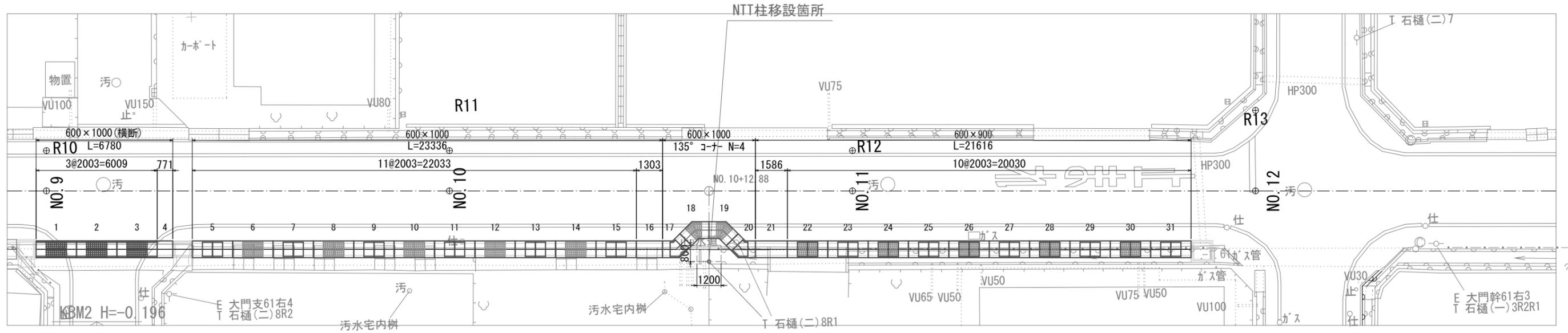
図面番号	4 / 9	縮尺	S=1:100
工種	大津野1号雨水枝線築造工事(4工区)		
種別	自由勾配側溝参考割付図(1)	番号	1
路線名	大門79号線		
工事箇所	福山市大門町一丁目及び大門町二丁目地内		
福山市上下水道局			

原図サイズ: A1 設計年月: 2025年6月

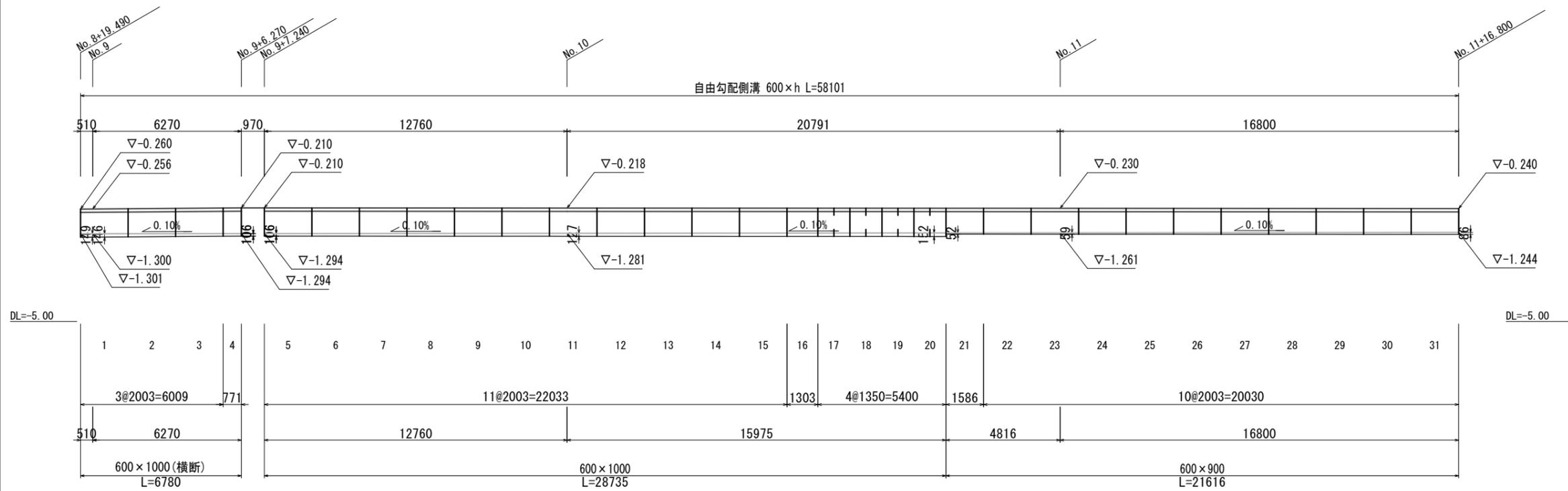
### 自由勾配側溝参考割付図(1)

平面図  
S = 1 : 100

※この割付は施工の延びを3mm見込んでいます。



縦断面図  
S = 1 : 100



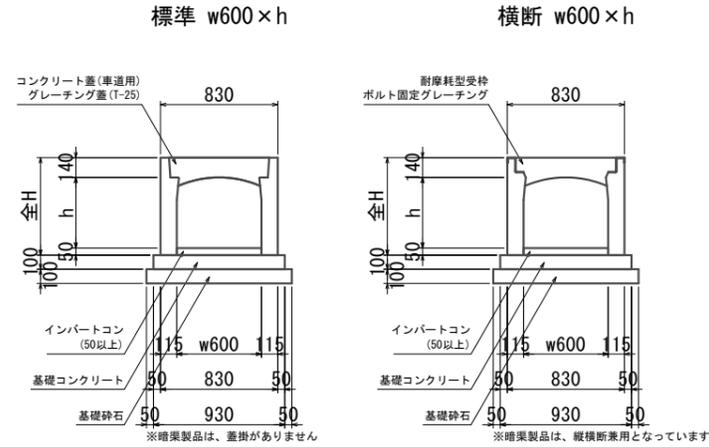
図面番号	5 / 9	縮尺	S=1:25
工種	大津野1号雨水枝線築造工事(4工区)		
種別	自由勾配側溝参考割付図(2)	番号	／
路線名	大門79号線		
工事箇所	福山市大門町一丁目及び大門町二丁目地内		
福山市上下水道局			

原図サイズ：A1 設計年月：2025年6月

## 自由勾配側溝参考割付図(2)

### 標準断面図

S = 1 : 25



規格	全H
w600×h900	1090
w600×h1000	1190

規格	全H
w600×h1000	1190

### 自由勾配側溝数量表

名称	規格	長さ	タイプ	数量	単位	製品番号	備考
自由勾配側溝	600×900	2000	標準	10	本		
		600×1000	2000	標準	11	本	
	2000	横断	3	本			
	768	暗渠	1	本	4		
	1300	暗渠	1	本	16		
	1583	暗渠	1	本	21		
				コーナー135	4	本	
合計				31	本	1~31	
蓋版	600	500	車道	22	枚		
			コーナー135	2	枚		
グレーチング		1000	車道・T-25(細目)	10	枚		
		1000	車道(横断)	3	枚		
			コーナー135(細目)	2	枚		

※製品 No. 1 ~ 31 を集計しています。

※施工の伸びを、3mm見込んでいます。

※斜切製品は、斜切角度の緩い方から見て、L=左側/右側とします。

### 自由勾配側溝材料表

名称	規格	数量	単位
インバートコンクリート	$\sigma_{ck}=18N/mm^2$	3.639	m <sup>3</sup>
基礎コンクリート	$\sigma_{ck}=18N/mm^2$	5.313	m <sup>3</sup>
同上型枠	均し基礎型枠	11.426	m <sup>2</sup>
基礎砕石	RC-30	58.844	m <sup>2</sup>

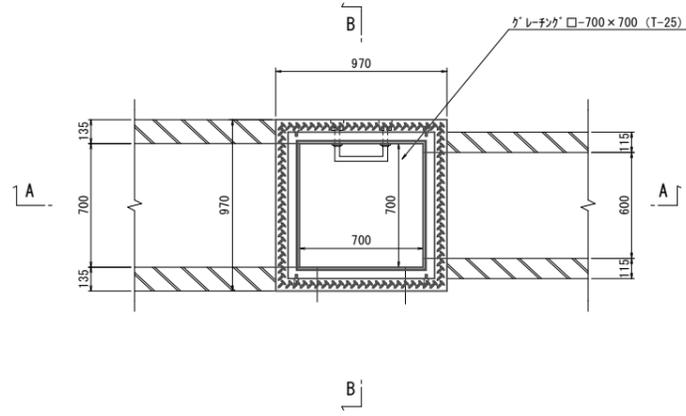
図面番号	6 / 9	縮尺	S=1:20
工種	大津野1号雨水枝線築造工事(4工区)		
種別	接合柵構造図(1)	番号	/
路線名	大門79号線		
工事箇所	福山市大門町一丁目及び大門町二丁目地内		
福山市上下水道局			

原図サイズ: A1 設計年月: 2025年6月

# 接合柵構造図(1)

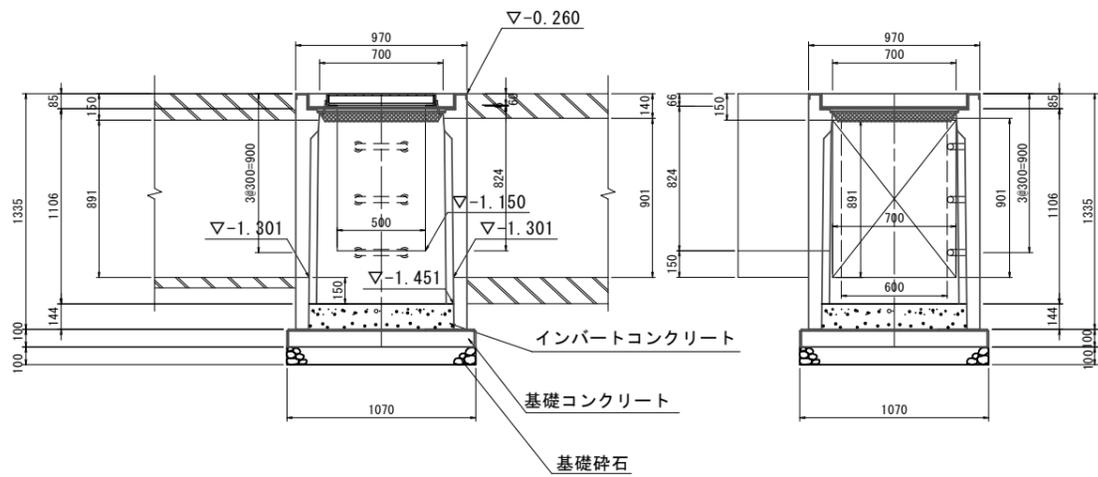
## 6号接合柵

平面図



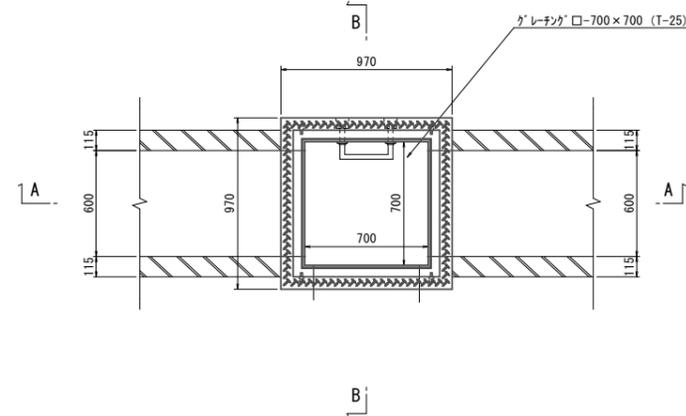
A-A断面図

B-B断面図



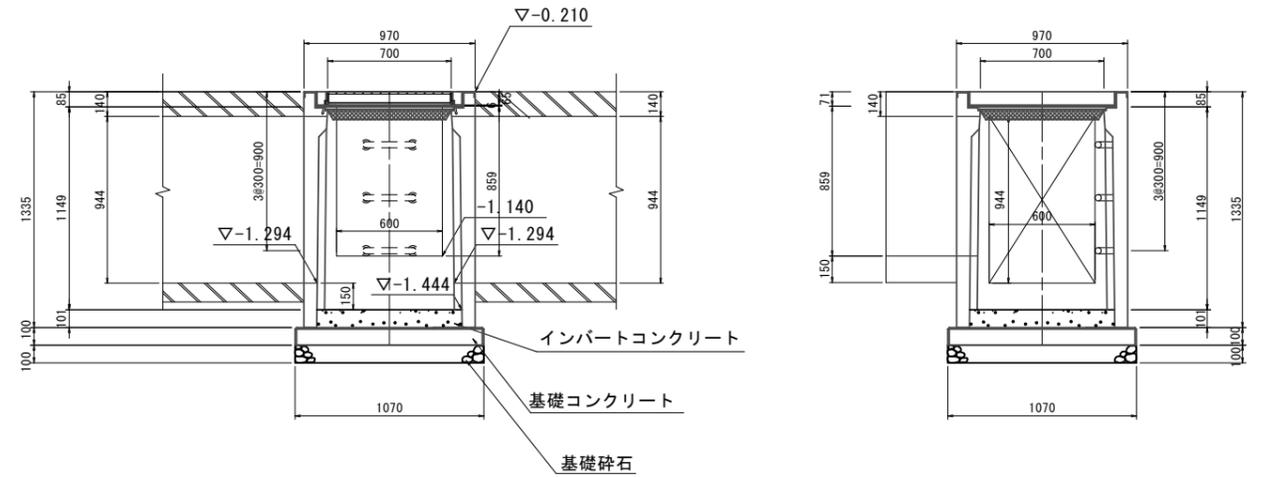
## 7号接合柵

平面図



A-A断面図

B-B断面図



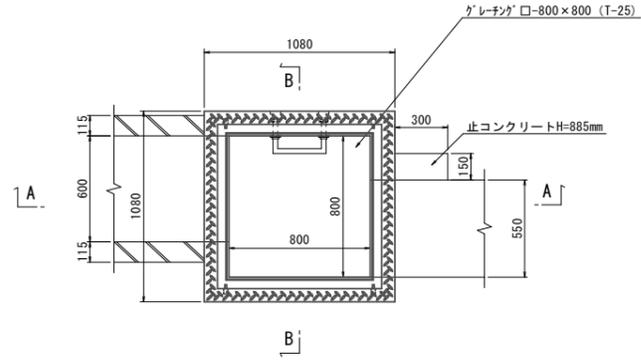
図面番号	7 / 9	縮尺	S=1:20
工種	大津野1号雨水枝線築造工事(4工区)		
種別	接合柵構造図(2)	番号	/
路線名	大門79号線		
工事箇所	福山市大門町一丁目及び大門町二丁目地内		
福山市上下水道局			

原図サイズ：A1 設計年月：2025年6月

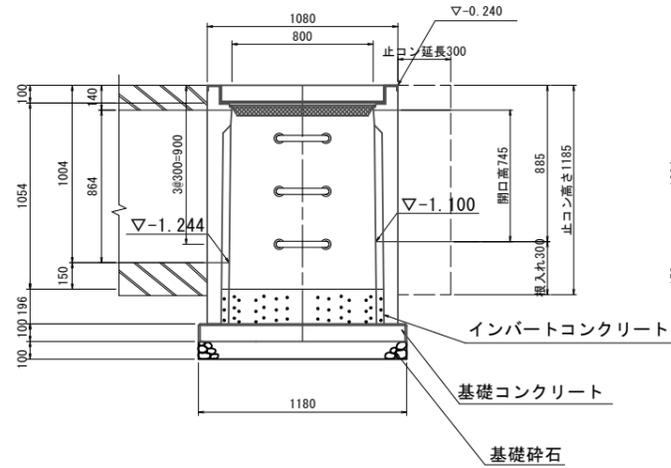
## 接合柵構造図(2)

### 8号接合柵

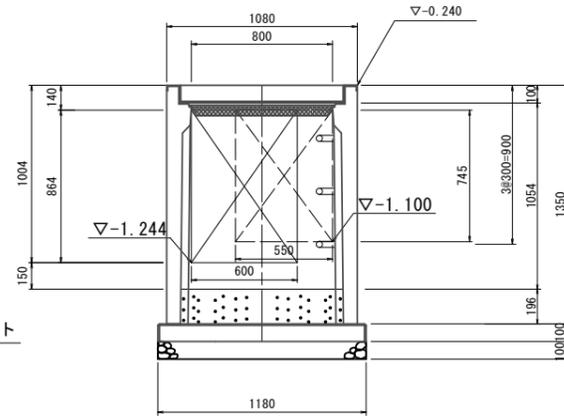
平面図



A-A断面図



B-B断面図

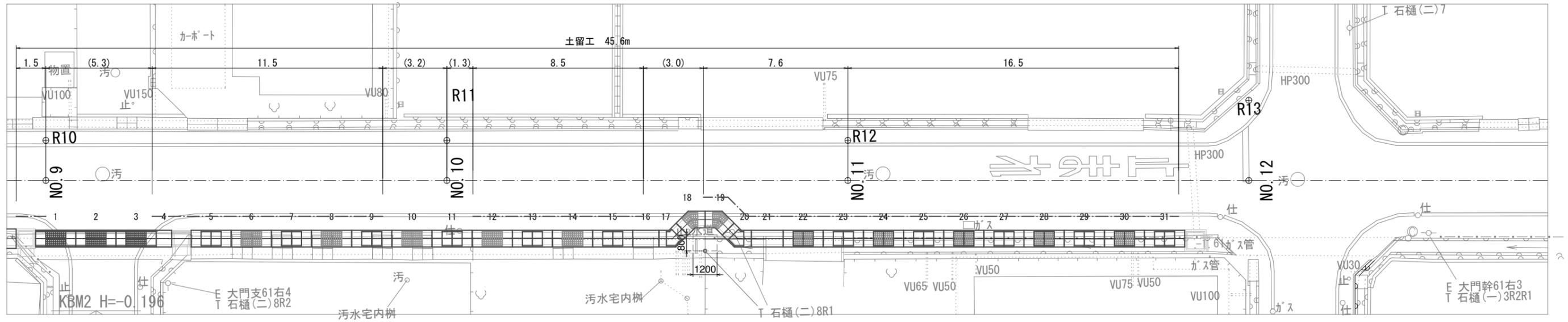




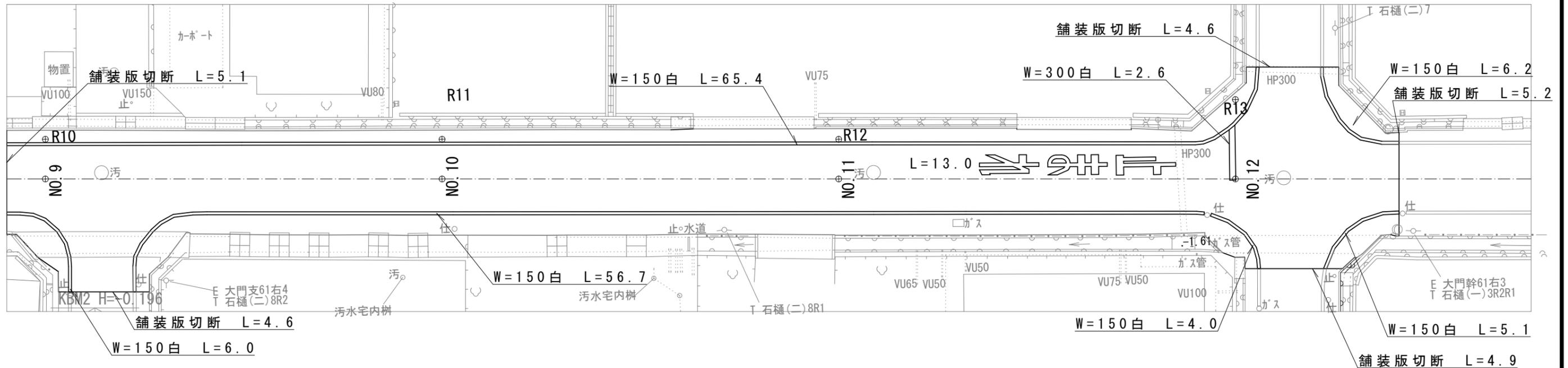
図面番号	9 / 9	縮尺	S=1:100
工種	大津野1号雨水枝線築造工事(4工区)		
種別	仮設土留工・舗装工・区画線工 平面図		
路線名	大門79号線		
工事箇所	福山市大門町一丁目及び大門町二丁目地内		
福山市上下水道局			

原図サイズ: A1 設計年月: 2025年6月

### 仮設土留工平面図



### 舗装工(本復旧)・区画線工平面図



#### 舗装工(本復旧)

舗装版切断	t=50	5.1+4.6+5.2+4.6+4.9	24.4 m
舗装版破碎		390.0	390.0 m <sup>2</sup>
不陸整正	補足材なし	390.0	390.0 m <sup>2</sup>
表層	As(20) t=50	390.0	390.0 m <sup>2</sup>

#### 区画線工(溶解式)

実線	W=150白	65.4+6.2+6.0+56.7+4.0+5.1	143.4 m
実線	W=300白	2.6	2.6 m
文字記号	止まれ	13.0	13.0 m
(W=150換算)			

# 参 考 图 书

# 施工単価表

床掘り

SPK24040015

単第0 -0001 表

土砂 上記以外(小規模)

1

m3 当り

機械構成比: 19.87%

労務構成比: 72.99%

材料構成比: 7.14%

市場単価構成比: 0.00%

標準単価:

2,170.70000

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
バックホウ(クローラ型) 後方超小旋回型・排2 山積0.28/平積0.2m3	19.87%		バックホウ(クローラ型) 後方超小旋回型・排2 山積0.28/平積0.2m3		MTPC00083 MTPT00083
運転手(特殊)	39.96%		運転手(特殊)		RTPC00006 RTPT00006
普通作業員	33.03%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
軽油 パトロール給油,2~4KL積載車給油	7.14%		軽油パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
積算単価			積算単価		EP001
A=1 土砂 E=1 -(全ての費用)			B=5 上記以外(小規模)		

# 施工単価表

埋戻し

SPK24040020

単第0 -0002 表

土砂

上記以外(小規模)

1

m3 当り

機械構成比: 9.48%

労務構成比: 86.47%

材料構成比: 4.05%

市場単価構成比: 0.00%

標準単価:

3,871.10000

代表機材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
バックホウ(クローラ型) 後方超小旋回型・排2 山積0.28/平積0.2m3	8.90%		バックホウ(クローラ型) 後方超小旋回型・排2 山積0.28/平積0.2m3		MTPC00083 MTPT00083
タンパ及びランマ ランマ 質量60～80kg	0.58%		タンパ及びランマ タンパ及びランマ 質量60～80kg		MTPC00048 MTPT00048
普通作業員	49.42%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
特殊作業員	19.17%		特殊作業員		RTPC00001 RTPT00001
運転手(特殊)	17.88%		運転手(特殊)		RTPC00006 RTPT00006
軽油 パトロール給油,2～4KL積載車給油	3.20%		軽油パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
ガソリン,レギュラー スタンド渡し,スタンド給油	0.85%		ガソリンレギュラースタンド		TTPC00014 TTPT00014
積算単価			積算単価		EP001
A=5 D=1	上記以外(小規模) -(全ての費用)		B=1 土砂		



# 施工単価表

頁0 -0004

コンクリート

SPK24040153

単第0 -0003 表

無筋・鉄筋構造物 18-8-25(20)BB

バックホウ(クレーン機能付)打設

1

m3 当り

機械構成比: 3.79% 労務構成比:

35.68% 材料構成比: 60.53%

市場単価構成比: 0.00%

標準単価:

33,754.00000

代表機材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
<賃>バックホウ(クローラ型クレーン機能付) 山積0.8m3(平積0.6)吊能力2.9t 排1~3,2011,2014	3.58%		バックホウ [クローラ型クレーン付] 排ガス型(第2次)山積0.8m3吊2.9t		KTPC00006 KTPT00006
その他(機械)			その他(機械)		EK009
特殊作業員	10.28%		特殊作業員		RTPC00001 RTPT00001
普通作業員	9.55%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
土木一般世話役	7.10%		土木一般世話役		RTPC00009 RTPT00009
運転手(特殊)	6.64%		運転手(特殊)		RTPC00006 RTPT00006
その他(労務)			その他(労務)		ER009
レディーミクストコンクリート指定品 呼び強度18,スランプ8,粗骨材20(25) W/C(60%),種別(高炉)	58.70%		生コンクリート 高炉 24-12-25(20) W/C 55%		TTPC00003 TTPT00343
軽油 パトロール給油,2~4KL積載車給油	1.73%		軽油パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013



# 施工単価表

土砂等運搬

SPK24040002

単第0 -0004 表

小規模 土砂(岩塊・玉石混り土含む)

DID区間有り 距離3.0km以下(2.0km超)

1

m3 当り

機械構成比: 24.45% 労務構成比:

63.42% 材料構成比: 12.13%

市場単価構成比: 0.00%

標準単価:

1,413.20000

代表機材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
ダンプトラック[オンロード・ディーゼル] 4t積級 (タイヤ損耗費及び補修費(良好)を含む)	24.45%		ダンプトラック[オンロード・ディーゼル] 4t積級 (タイヤ損耗費及び補修費(良好)を含む)		MTPC00017T1 MTPT00017T1
運転手(一般)	63.42%		運転手(一般)		RTPC00007 RTPT00007
軽油 パトロール給油,2~4KL積載車給油	12.13%		軽油パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
積算単価			積算単価		EP001
A=2 小規模 C=1 土砂(岩塊・玉石混り土含む) F=14 距離3.0km以下(2.0km超)			B=5 バックホウ山積0.28m3(平積0.2m3) D=2 DID区間有り		











# 施工単価表

プレキャスト集水桝

SPK24040095

単第0 -0010 表

据付 基礎砕石有り

製品質量(kg/基)800kgを超え1200kg以下

1

基 当り

機械構成比: 8.43%

労務構成比:

89.80%

材料構成比:

1.77%

市場単価構成比:

0.00%

標準単価:

11,181.00000

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
<賃>バックホウ(クローラ型クレーン機能付) 山積0.28m3(平積0.2)吊能力1.7t 排出ガス対策型(第1,2,3次基準値)低騒音	6.80%		バックホウ クローラ型 クレーン機能付1.7t 山積0.28m3(平積0.2m3)		KTPC00019 KTPT00019
その他(機械)			その他(機械)		EK009
普通作業員	29.97%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
運転手(特殊)	24.77%		運転手(特殊)		RTPC00006 RTPT00006
土木一般世話役	12.92%		土木一般世話役		RTPC00009 RTPT00009
特殊作業員	4.77%		特殊作業員		RTPC00001 RTPT00001
その他(労務)			その他(労務)		ER009
軽油 パトロール給油,2~4KL積載車給油	1.43%		軽油パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
その他(材料)			その他(材料)		EZ009



# 施工単価表

頁0 -0014

コンクリート

SPK24040153

単第0 -0011 表

無筋・鉄筋構造物 18-8-25(20)BB

バックホウ(クレーン機能付)打設

1

m3 当り

機械構成比: 3.90% 労務構成比:

33.90% 材料構成比: 62.20%

市場単価構成比: 0.00%

標準単価:

32,842.00000

代表機材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
<賃>バックホウ(クローラ型クレーン機能付) 山積0.8m3(平積0.6)吊能力2.9t 排1~3,2011,2014	3.68%		バックホウ [クローラ型クレーン付] 排ガス型(第2次)山積0.8m3吊2.9t		KTPC00006 KTPT00006
その他(機械)			その他(機械)		EK009
特殊作業員	10.56%		特殊作業員		RTPC00001 RTPT00001
普通作業員	8.00%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
運転手(特殊)	6.83%		運転手(特殊)		RTPC00006 RTPT00006
土木一般世話役	6.59%		土木一般世話役		RTPC00009 RTPT00009
その他(労務)			その他(労務)		ER009
レディーミクストコンクリート指定品 呼び強度18,スランプ8,粗骨材20(25) W/C(60%),種別(高炉)	60.32%		生コンクリート 高炉 24-12-25(20) W/C 55%		TTPC00003 TTPT00343
軽油 パトロール給油,2~4KL積載車給油	1.78%		軽油パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013







# 施工単価表

プレキャスト集水桝

SPK24040095

単第0 -0014 表

据付 基礎砕石有り

製品質量(kg/基)1200kgを超え1600kg以下

1

基 当り

機械構成比: 9.39%

労務構成比:

87.93%

材料構成比:

2.68%

市場単価構成比:

0.00%

標準単価:

12,612.00000

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
<賃>バックホウ(クローラ型クレーン機能付) 山積0.45m3(平積0.35)吊能力2.9t 排出ガス対策型(第1,2,3次基準値)低騒音	7.34%		バックホウ [クローラ型クレーン付] 排ガス型(第2次)山積0.45m3吊2.9t		KTPC00005 KTPT00005
その他(機械)			その他(機械)		EK009
普通作業員	26.58%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
運転手(特殊)	24.16%		運転手(特殊)		RTPC00006 RTPT00006
土木一般世話役	13.74%		土木一般世話役		RTPC00009 RTPT00009
特殊作業員	4.23%		特殊作業員		RTPC00001 RTPT00001
その他(労務)			その他(労務)		ER009
軽油 パトロール給油,2~4KL積載車給油	2.10%		軽油パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
その他(材料)			その他(材料)		EZ009



# 施工単価表

コンクリート

SPK24040153

単第0 -0015 表

小型構造物 18-8-40BB

バックホウ(クレーン機能付)打設

1

m3 当り

機械構成比: 3.69%

労務構成比:

37.88%

材料構成比:

58.43%

市場単価構成比:

0.00%

標準単価:

34,650.00000

代表機材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
<賃>バックホウ(クローラ型クレーン機能付) 山積0.8m3(平積0.6)吊能力2.9t 排1~3,2011,2014	3.49%		バックホウ [クローラ型クレーン付] 排ガス型(第2次)山積0.8m3吊2.9t		KTPC00006 KTPT00006
その他(機械)			その他(機械)		EK009
普通作業員	11.17%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
特殊作業員	10.01%		特殊作業員		RTPC00001 RTPT00001
土木一般世話役	7.75%		土木一般世話役		RTPC00009 RTPT00009
運転手(特殊)	6.47%		運転手(特殊)		RTPC00006 RTPT00006
その他(労務)			その他(労務)		ER009
レディーミクストコンクリート指定品 呼び強度18,スランプ8,粗骨材40 W/C(60%),種別(高炉)	56.64%		生コンクリート 高炉 24-12-25(20) W/C 55%		TTPCD0010 TTPT00343
軽油 パトロール給油,2~4KL積載車給油	1.69%		軽油パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013



# 施工単価表

型枠

SPK24040155

単第0 -0016 表

一般型枠

小型構造物

1

m2 当り

機械構成比: 0.00%

労務構成比: 100.00%

材料構成比: 0.00%

市場単価構成比: 0.00%

標準単価:

8,483.40000

代表機材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
型わく工	43.77%		型わく工		RTPC00010 RTPT00010
普通作業員	31.27%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
土木一般世話役	11.92%		土木一般世話役		RTPC00009 RTPT00009
その他(労務)			その他(労務)		ER009
積算単価			積算単価		EP001
A=1 一般型枠 C=1 -(全ての費用)			B=2 小型構造物		

# 施工単価表

軽量鋼矢板油圧圧入工

SG1D0033005

単第0 -0017 表

頁0 -0023

1 枚 当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
土木一般世話役	0.204	人			0.204*1
特殊作業員	0.204	人			0.204*1
とび工	0.204	人			0.204*1
油圧式杭圧入引抜機運転 022_エンジン式ユニット 排1 軽量鋼矢板用 圧入294/引抜力392kN(30/40t)	0.204	日			単第0-0018 表
<作>ラフテレーンクレーン(油圧伸縮ジブ型) 16t吊,オペレータ付 排出ガス対策型(第1,2次基準値)低騒音	0.204	日			
諸雑費	1	式			
1枚当り(計/10枚)					
*** 単位当たり ***	1	枚			
A=5 圧入長(m) 6.0以下					









# 施工単価表

コンクリート

SPK24040153

単第0 -0022 表

無筋・鉄筋構造物 18-8-25(20)BB

人力打設

1

m3 当り

機械構成比: 0.00% 労務構成比: 29.40%

材料構成比: 70.60%

市場単価構成比: 0.00%

標準単価:

28,051.00000

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
普通作業員	13.20%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
特殊作業員	7.51%		特殊作業員		RTPC00001 RTPT00001
土木一般世話役	6.69%		土木一般世話役		RTPC00009 RTPT00009
その他(労務)			その他(労務)		ER009
レディーミクストコンクリート指定品 呼び強度18,スランプ8,粗骨材20(25) W/C(60%),種別(高炉)	70.60%		生コンクリート 高炉 24-12-25(20) W/C 55%		TTPC00003 TTPT00343
積算単価			積算単価		E9999
A=1 無筋・鉄筋構造物 C=3 18-8-25(20)BB H=2 現場内小運搬無し K=1 -(全ての費用)			B=3 人力打設 F=2 一般養生 J=1 -		

# 施工単価表

型枠

SPK24040155

単第0 -0023 表

一般型枠

均しコンクリート

1

m2 当り

機械構成比: 0.00%

労務構成比: 100.00%

材料構成比: 0.00%

市場単価構成比: 0.00%

標準単価:

4,714.10000

代表機材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
型わく工	58.35%		型わく工		RTPC00010 RTPT00010
普通作業員	20.27%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
土木一般世話役	6.13%		土木一般世話役		RTPC00009 RTPT00009
その他(労務)			その他(労務)		ER009
積算単価			積算単価		EP001
A=1 一般型枠 C=1 -(全ての費用)			B=5 均しコンクリート		

# 施工単価表

頁0 -0030

モルタル練

SPK24040154

単第0 -0024 表

普通

1

m3 当り

機械構成比: 0.00%

労務構成比: 83.30%

材料構成比: 16.70%

市場単価構成比: 0.00%

標準単価:

94,888.00000

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
普通作業員	55.43%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
土木一般世話役	27.71%		土木一般世話役		RTPC00009 RTPT00009
その他(労務)			その他(労務)		ER009
セメント(袋) 普通ポルトランド 25kg/袋	11.28%		セメント 高炉B 25kg袋入		TTPCD0094 TTPT00063
コンクリート用砂 細目(洗い)	5.42%		砂 細目(洗い)		TTPC00066 TTPT00066
積算単価			積算単価		EP001
A=2 普通			B=1 -(全ての費用)		

# 施工単価表

土間コンクリート

SPK24040153

単第0 -0025 表

無筋・鉄筋構造物 18-8-25(20)BB

人力打設

1

m3 当り

機械構成比: 0.00% 労務構成比: 29.40%

材料構成比: 70.60%

市場単価構成比: 0.00%

標準単価:

28,051.00000

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
普通作業員	13.20%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
特殊作業員	7.51%		特殊作業員		RTPC00001 RTPT00001
土木一般世話役	6.69%		土木一般世話役		RTPC00009 RTPT00009
その他(労務)			その他(労務)		ER009
レディーミクストコンクリート指定品 呼び強度18,スランプ8,粗骨材20(25) W/C(60%),種別(高炉)	70.60%		生コンクリート 高炉 24-12-25(20) W/C 55%		TTPC00003 TTPT00343
積算単価			積算単価		E9999
A=1 無筋・鉄筋構造物 C=3 18-8-25(20)BB H=2 現場内小運搬無し K=1 -(全ての費用)			B=3 人力打設 F=2 一般養生 J=1 -		

# 施工単価表

張コンクリート

SPK24040153

単第0 -0026 表

無筋・鉄筋構造物 18-8-25(20)BB

人力打設

1

m3 当り

機械構成比: 0.00% 労務構成比:

29.40%

材料構成比: 70.60%

市場単価構成比: 0.00%

標準単価:

28,051.00000

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
普通作業員	13.20%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
特殊作業員	7.51%		特殊作業員		RTPC00001 RTPT00001
土木一般世話役	6.69%		土木一般世話役		RTPC00009 RTPT00009
その他(労務)			その他(労務)		ER009
レディーミクストコンクリート指定品 呼び強度18,スランプ8,粗骨材20(25) W/C(60%),種別(高炉)	70.60%		生コンクリート 高炉 24-12-25(20) W/C 55%		TTPC00003 TTPT00343
積算単価			積算単価		E9999
A=1 無筋・鉄筋構造物 C=3 18-8-25(20)BB H=2 現場内小運搬無し K=1 -(全ての費用)			B=3 人力打設 F=2 一般養生 J=1 -		

# 施工単価表

目地板

SPK24040122

単第0 -0027 表

1工事当り使用量30m2未満

瀝青繊維質目地板 t=10mm

1

m2 当り

機械構成比: 0.00% 労務構成比:

63.93% 材料構成比: 36.07%

市場単価構成比: 0.00%

標準単価:

3,855.30000

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
普通作業員	47.13%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
土木一般世話役	16.49%		土木一般世話役		RTPC00009 RTPT00009
その他(労務)			その他(労務)		ER009
目地板 瀝青繊維質板 厚10mm	36.07%		瀝青繊維質目地板 厚さ10mm		TTPC00199 TTPT00199
積算単価			積算単価		EP001
A=1 1工事当り使用量30m2未満			B=1 瀝青繊維質目地板 t=10mm		

# 施工単価表

頁0 -0034

舗装版切断

SPK24040306

単第0 -0028 表

コンクリート舗装版

コンクリート舗装版厚15cm以下

1

m 当り

機械構成比: 13.36%

労務構成比:

49.56%

材料構成比: 37.08%

市場単価構成比: 0.00%

標準単価:

1,222.00000

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
コンクリートカッタ バキューム式(超低騒音型)・湿式 切削深20cm級ブレード径 56cm	9.09%		コンクリートカッタ バキューム式(超低騒音型)・湿式 切削深20cm級ブレード径 56cm		MTPC00164 MTPT00164
その他(機械)			その他(機械)		EK009
特殊作業員	16.98%		特殊作業員		RTPC00001 RTPT00001
土木一般世話役	9.17%		土木一般世話役		RTPC00009 RTPT00009
普通作業員	7.58%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
その他(労務)			その他(労務)		ER009
コンクリートカッタブレード 自走式切断機用 径45cm(18インチ)	33.48%		コンクリートカッタブレード 径18インチ		TTPC00394 TTPT00394
ガソリン,レギュラー スタンド渡し,スタンド給油	2.45%		ガソリンレギュラースタンド		TTPC00014 TTPT00014
その他(材料)			その他(材料)		EZ009







# 施工単価表

殻運搬

SPK24040151

単第0 -0031 表

Co(無筋)構造物とりこわし

DID区間有り 運搬距離23.2km以下(18.5km超)

1

m3 当り

機械構成比: 41.69% 労務構成比:

43.88%

材料構成比: 14.43%

市場単価構成比: 0.00%

標準単価:

3,216.60000

代表機材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
ダンプトラック[オンロード・ディーゼル] 10t積級 (タイヤ損耗費及び補修費(良好)を含む)	41.69%		ダンプトラック[オンロード・ディーゼル] 10t積級 (タイヤ損耗費及び補修費(良好)を含む)		MTPC00018T1 MTPT00018T1
運転手(一般)	43.88%		運転手(一般)		RTPC00007 RTPT00007
軽油 パトロール給油,2~4KL積載車給油	14.43%		軽油パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
積算単価			積算単価		EP001
A=1 Co(無筋)構造物とりこわし C=2 DID区間有り E=1 -(全ての費用)			B=1 機械積込 D=61 運搬距離23.2km以下(18.5km超)		

# 施工単価表

殻運搬

SPK24040151

単第0 -0032 表

Co(鉄筋)構造物とりこわし

DID区間有り 運搬距離23.2km以下(18.5km超)

1

m3 当り

機械構成比: 41.69% 労務構成比:

43.88% 材料構成比: 14.43% 市場単価構成比: 0.00%

標準単価:

3,931.40000

代表機材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
ダンプトラック[オンロード・ディーゼル] 10t積級 (タイヤ損耗費及び補修費(良好)を含む)	41.69%		ダンプトラック[オンロード・ディーゼル] 10t積級 (タイヤ損耗費及び補修費(良好)を含む)		MTPC00018T1 MTPT00018T1
運転手(一般)	43.88%		運転手(一般)		RTPC00007 RTPT00007
軽油 パトロール給油,2~4KL積載車給油	14.43%		軽油パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
積算単価			積算単価		EP001
A=2 Co(鉄筋)構造物とりこわし C=2 DID区間有り E=1 -(全ての費用)			B=1 機械積込 D=61 運搬距離23.2km以下(18.5km超)		



# 施工単価表

現場発生品及び支給品運搬

SPK24040410

単第0 -0034 表

クレーン装置付BT2t級2.9t吊

片道運搬距離7.0km以下(5.0km超)

1

t 当り

機械構成比: 13.58% 労務構成比:

83.54% 材料構成比: 2.88%

市場単価構成比: 0.00%

標準単価:

3,711.80000

代表機材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
トラック クレーン装置付 ベーストラック2t積吊能力2.9t	13.58%		トラック クレーン装置付 ベーストラック2t級吊能力2.9t		MTPC00154 MTPT00154
運転手(特殊)	42.54%		運転手(特殊)		RTPC00006 RTPT00006
特殊作業員	41.00%		特殊作業員		RTPC00001 RTPT00001
軽油 パトロール給油,2~4KL積載車給油	2.88%		軽油パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
積算単価			積算単価		EP001
A=1 C=7 クレーン装置付BT2t級2.9t吊 片道運搬距離7.0km以下(5.0km超)			B=2 DID区間有り		



# 施工単価表

頁0 -0043

舗装版切断

SPK24040306

単第0 -0036 表

アスファルト舗装版

アスファルト舗装版厚15cm以下

1

m 当り

機械構成比: 15.42%

労務構成比:

57.13%

材料構成比: 27.45%

市場単価構成比: 0.00%

標準単価:

673.26000

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
コンクリートカッタ バキューム式(超低騒音型)・湿式 切削深20cm級ブレード径 56cm	10.49%		コンクリートカッタ バキューム式(超低騒音型)・湿式 切削深20cm級ブレード径 56cm		MTPC00164 MTPT00164
その他(機械)			その他(機械)		EK009
特殊作業員	19.60%		特殊作業員		RTPC00001 RTPT00001
土木一般世話役	10.55%		土木一般世話役		RTPC00009 RTPT00009
普通作業員	8.73%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
その他(労務)			その他(労務)		ER009
コンクリートカッタブレード 自走式切断機用 径45cm(18インチ)	23.29%		コンクリートカッタブレード 径18インチ		TTPC00394 TTPT00394
ガソリン,レギュラー スタンド渡し,スタンド給油	2.83%		ガソリンレギュラースタンド		TTPC00014 TTPT00014
その他(材料)			その他(材料)		EZ009



# 施工単価表

舗装版破碎積込(小規模土工)

SPK24040018

単第0 -0037 表

機械構成比: 20.80% 労務構成比: 71.28% 材料構成比: 7.92% 市場単価構成比: 0.00% 標準単価: 1,690.80000

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
小型バックホウ(クローラ型) 標準型・排2 山積0.13/平積0.10m3	20.80%		小型バックホウ(クローラ型) 標準型・排2 山積0.13/平積0.10m3		MTPC00077 MTPT00077
運転手(特殊)	71.28%		運転手(特殊)		RTPC00006 RTPT00006
軽油 パトロール給油,2~4KL積載車給油	7.92%		軽油パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
積算単価			積算単価		EP001
A=1 -(全ての費用)					

# 施工単価表

殻運搬

舗装版破碎

機械構成比: 18.57% 労務構成比: 72.35%

SPK24040151

DID区間有り 運搬距離3.0km以下(2.5km超)

材料構成比: 9.08% 市場単価構成比: 0.00%

単第0 -0038 表

1  
標準単価:

m3 当り  
3,220.30000

代表機材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
ダンプトラック[オンロード・ディーゼル] 2t積級 (タイヤ損耗費及び補修費(良好)を含む)	18.57%		ダンプトラック[オンロード・ディーゼル] 2t積級 (タイヤ損耗費及び補修費(良好)を含む)		MTPC00016T1 MTPT00016T1
運転手(一般)	72.35%		運転手(一般)		RTPC00007 RTPT00007
軽油 パトロール給油,2~4KL積載車給油	9.08%		軽油パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
積算単価			積算単価		EP001
A=3 舗装版破碎 C=2 DID区間有り E=1 -(全ての費用)			B=4 機械積込(小規模土工) D=13 運搬距離3.0km以下(2.5km超)		

# 施工単価表

下層路盤(歩道部)

SPK24040233

単第0 -0039 表

全仕上り厚100mm 1層施工

RC-30

1

m2 当り

機械構成比: 5.62% 労務構成比:

72.88%

材料構成比: 21.50%

市場単価構成比: 0.00%

標準単価:

784.89000

代表機材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
<賃>小型バックホウ(クローラ型) 山積0.11m3(平積0.08) 排出ガス対策型(第1,2,3次基準値)低騒音	2.91%		小型バックホウ [クローラ型] 山積0.11m3(平積0.08m3)		KTPC00001 KTPT00001
<賃>振動ローラ(搭乗・コンバインド式) 質量3~4t 排出ガス対策型(第1,2次基準値)低騒音	2.55%		振動ローラ(舗装用) [搭乗式コンバインド型] 質量3~4t		KTPC00009 KTPT00009
その他(機械)			その他(機械)		EK009
普通作業員	30.50%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
運転手(特殊)	26.32%		運転手(特殊)		RTPC00006 RTPT00006
特殊作業員	13.94%		特殊作業員		RTPC00001 RTPT00001
その他(労務)			その他(労務)		ER009
再生クラッシャーラン 30~0mm	19.41%		再生クラッシャーラン RC-40 [標準数量]全仕上り厚100mm		TTPCD0018 TTPT00352
軽油 パトロール給油,2~4KL積載車給油	2.03%		軽油パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013

# 施工単価表

下層路盤(歩道部)

SPK24040233

単第0 -0039 表

全仕上り厚100mm 1層施工

RC-30

1

m2 当り

機械構成比: 5.62% 労務構成比: 72.88%

材料構成比: 21.50%

市場単価構成比: 0.00%

標準単価:

784.89000

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
その他(材料)			その他(材料)		EZ009
積算単価			積算単価		E9999
A=100 全仕上り厚(mm) D=1 -(全ての費用)			B=3 RC-30		
【路盤材単価】 全仕上り厚(mm)/1000*路盤材単価(円) 全仕上り厚(mm):100.000(mm)					

# 施工単価表

頁0 -0049

上層路盤(歩道部)  
全仕上り厚100mm 1層施工

SPK24040235

単第0 -0040 表

機械構成比: 5.20% 労務構成比:

RM-30

67.43%

材料構成比: 27.37%

市場単価構成比: 0.00%

標準単価: 1

m2 当り

848.39000

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
<賃>小型バックホウ(クローラ型) 山積0.11m3(平積0.08) 排出ガス対策型(第1,2,3次基準値)低騒音	2.69%		小型バックホウ [クローラ型] 山積0.11m3(平積0.08m3)		KTPC00001 KTPT00001
<賃>振動ローラ(搭乗・コンバインド式) 質量3~4t 排出ガス対策型(第1,2次基準値)低騒音	2.36%		振動ローラ(舗装用) [搭乗式コンバインド型] 質量3~4t		KTPC00009 KTPT00009
その他(機械)			その他(機械)		EK009
普通作業員	28.22%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
運転手(特殊)	24.35%		運転手(特殊)		RTPC00006 RTPT00006
特殊作業員	12.90%		特殊作業員		RTPC00001 RTPT00001
その他(労務)			その他(労務)		ER009
再生粒度調整碎石 30~0mm	25.44%		再生粒度調整碎石 RM-30 [標準数量]全仕上り厚100mm		TTPC00010 TTPT00360
軽油 パトロール給油,2~4KL積載車給油	1.88%		軽油パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013

# 施工単価表

上層路盤(歩道部)

SPK24040235

単第0 -0040 表

全仕上り厚100mm 1層施工

RM-30

1

m2 当り

機械構成比: 5.20% 労務構成比:

67.43%

材料構成比: 27.37%

市場単価構成比: 0.00%

標準単価:

848.39000

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
その他(材料)			その他(材料)		EZ009
積算単価			積算単価		E9999
A=100 全仕上り厚(mm) D=1 -(全ての費用)			B=1 RM-30		
【路盤材単価】 全仕上り厚(mm)/1000*路盤材単価(円) 全仕上り厚(mm):100.000(mm)					

# 施工単価表

頁0 -0051

表層(歩道部)

SPK24040244

単第0 -0041 表

平均幅員1.4m未満(1層平均50mm以下)

1層当り平均仕上厚50mm

1

m2 当り

機械構成比: 0.47% 労務構成比:

50.62%

材料構成比: 48.91%

市場単価構成比: 0.00%

標準単価:

1,956.60000

代表機材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
振動ローラ(舗装用) ハンドガイド式 運転質量0.5~0.6t	0.35%		振動ローラ(舗装用) ハンドガイド式 運転質量0.5~0.6t		MTPC00047 MTPT00047
振動コンパクト 前進型 運転質量40~60kg	0.09%		振動コンパクト 前進型 運転質量40~60kg		MTPC00049 MTPT00049
その他(機械)			その他(機械)		EK009
特殊作業員	21.87%		特殊作業員		RTPC00001 RTPT00001
普通作業員	19.54%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
土木一般世話役	5.90%		土木一般世話役		RTPC00009 RTPT00009
その他(労務)			その他(労務)		ER009
再生加熱アスファルト混合物 再生密粒度(20)	48.73%		再生密粒度As混合物(13) [標準数量]平均仕上り厚40mm		TTPCD0038 TTPT00293
ガソリン,レギュラー スタンド渡し,スタンド給油	0.12%		ガソリンレギュラースタンド		TTPC00014 TTPT00014

# 施工単価表

表層(歩道部)

SPK24040244

単第0 -0041 表

平均幅員1.4m未満(1層平均50mm以下)

1層当り平均仕上厚50mm

1

m2 当り

機械構成比: 0.47% 労務構成比: 50.62%

材料構成比: 48.91%

市場単価構成比: 0.00%

標準単価:

1,956.60000

代表機材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
軽油 パトロール給油, 2~4KL積載車給油	0.05%		軽油パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
その他(材料)			その他(材料)		EZ009
積算単価			積算単価		E9999
A=1 平均幅員1.4m未満(1層平均50mm以下) C=6 再生密粒度アスファルト混合物(20) G=1 - I=1 -(全ての費用)			B=50 1層当り平均仕上り厚(mm) E=5 瀝青材料無し H=1 -		
【アスファルト混合物単価】 1層当り平均仕上り厚(mm)/1000*(アスファルト混合物単価(円)+各種割増合計値) 1層当り平均仕上り厚(mm):50.000(mm)					











# 施工単価表

舗装版破碎

SPK24040305

単第0 -0047 表

アスファルト舗装版

障害等無し 舗装版厚15cm以下

1

m2 当り

機械構成比: 13.49%

労務構成比:

80.49%

材料構成比:

6.02%

市場単価構成比:

0.00%

標準単価:

207.06000

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
<賃>後方超小旋回バックホウ(クローラ型) 山積0.45m3(平積0.35m3) 排出ガス対策型(第1,2,3次基準値)低騒音	13.49%		バックホウ(クローラ型) [後方超小旋回型] 山積0.45m3(平積0.35m3)		KTPC00066 KTPT00066
土木一般世話役	28.91%		土木一般世話役		RTPC00009 RTPT00009
運転手(特殊)	27.69%		運転手(特殊)		RTPC00006 RTPT00006
普通作業員	23.89%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
軽油 パトロール給油,2~4KL積載車給油	6.02%		軽油パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
積算単価			積算単価		EP001
A=1 C=1 F=1	アスファルト舗装版 騒音振動対策不要 積込作業有り		B=1 D=1 G=1	障害等無し 舗装版厚15cm以下 -(全ての費用)	

# 施工単価表

殻運搬

舗装版破碎

機械構成比: 44.95% 労務構成比: 38.97%

SPK24040151

DID区間有り 運搬距離3.5km以下(1.5km超)

材料構成比: 16.08% 市場単価構成比: 0.00%

単第0 -0048 表

1  
標準単価:

m3 当り

2,316.40000

代表機材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
ダンプトラック[オンロード・ディーゼル] 10t積級 (タイヤ損耗費及び補修費(良好)を含む)	44.95%		ダンプトラック[オンロード・ディーゼル] 10t積級 (タイヤ損耗費及び補修費(良好)を含む)		MTPC00018T1 MTPT00018T1
運転手(一般)	38.97%		運転手(一般)		RTPC00007 RTPT00007
軽油 パトロール給油,2~4KL積載車給油	16.08%		軽油パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
積算単価			積算単価		EP001
A=3 舗装版破碎 C=2 DID区間有り E=1 -(全ての費用)			B=3 機械積込(騒音対策不要,舗装版厚15cm以下) D=15 運搬距離3.5km以下(1.5km超)		

# 施工単価表

不陸整正  
補足材料無し

SPK24040231

単第0 -0049 表

1

m2 当り

機械構成比: 23.12% 労務構成比: 68.86% 材料構成比: 8.02% 市場単価構成比: 0.00% 標準単価: 124.50000

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
モータグレーダ 土工用・排2 ブレード幅3.1m	11.29%		モータグレーダ 土工用・排2 ブレード幅3.1m		MTPC00134 MTPT00134
ロードローラ マカダム・排2 運転質量10t締固め幅2.1m	8.94%		ロードローラ マカダム・排2 運転質量10t締固め幅2.1m		MTPC00135 MTPT00135
<賃>タイヤローラ 質量8~20t 排出ガス対策型(第1,2次基準値)低騒音	2.89%		タイヤローラ 質量8~20t		KTPC00007 KTPT00007
運転手(特殊)	44.09%		運転手(特殊)		RTPC00006 RTPT00006
特殊作業員	12.86%		特殊作業員		RTPC00001 RTPT00001
普通作業員	9.59%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
土木一般世話役	2.32%		土木一般世話役		RTPC00009 RTPT00009
軽油 パトロール給油,2~4KL積載車給油	8.02%		軽油パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
積算単価			積算単価		EP001



# 施工単価表

頁0 -0062

表層(車道・路肩部)

SPK24040241

単第0 -0050 表

平均幅員3.0m超

1層当り平均仕上厚50mm

1

m2 当り

機械構成比: 1.35%

労務構成比: 9.47%

材料構成比: 89.18%

市場単価構成比: 0.00%

標準単価:

1,836.00000

代表機材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
<賃>アスファルトフィニッシャ(ホイール型) 舗装幅2.3~6.0m 排出ガス対策型(第1,2次基準値)低騒音	0.87%		アスファルトフィニッシャ [ホイール型] 舗装幅2.3~6.0m		KTPC00060 KTPT00060
<賃>タイヤローラ 質量8~20t 排出ガス対策型(第1,2次基準値)低騒音	0.13%		タイヤローラ 質量8~20t		KTPC00007 KTPT00007
<賃>ロードローラ(マカダム) 質量10~12t 排出ガス対策型(第1,2次基準値)	0.13%		ロードローラ [マカダム]質量10t~12t		KTPC00047 KTPT00047
その他(機械)			その他(機械)		EK009
普通作業員	3.39%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
運転手(特殊)	1.94%		運転手(特殊)		RTPC00006 RTPT00006
特殊作業員	1.89%		特殊作業員		RTPC00001 RTPT00001
土木一般世話役	0.67%		土木一般世話役		RTPC00009 RTPT00009
その他(労務)			その他(労務)		ER009

# 施工単価表

表層(車道・路肩部)

SPK24040241

単第0 -0050 表

平均幅員3.0m超

1層当り平均仕上厚50mm

1

m2 当り

機械構成比: 1.35%

労務構成比: 9.47%

材料構成比: 89.18%

市場単価構成比: 0.00%

標準単価:

1,836.00000

代表機材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
再生加熱アスファルト混合物 再生密粒度(20)	81.56%		密粒度As混合物(20) [標準数量]平均仕上り厚50mm		TTPCD0038 TTPT00284
アスファルト乳剤(JISK2208) アスファルト乳剤(浸透用) PK-3プライムコート用	7.06%		アスファルト乳剤(JISK2208) アスファルト乳剤(浸透用) PK-3プライムコート用		TTPC00026 TTPT00026
軽油 パトロール給油,2~4KL積載車給油	0.47%		軽油パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
その他(材料)			その他(材料)		EZ009
積算単価			積算単価		E9999
A=4 平均幅員3.0m超 C=6 再生密粒度アスファルト混合物(20) G=1 - I=1 -(全ての費用)			B=50 1層当り平均仕上り厚(mm) E=2 PK-3 H=1 -		
【アスファルト混合物単価】 1層当り平均仕上り厚(mm)/1000*(アスファルト混合物単価(円)+各種割増合計値) 1層当り平均仕上り厚(mm):50.000(mm)					

# 施工単価表

区画線設置(溶融式)

VDT00001

単第0 -0051 表

実線 15cm

143

m 当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
昼間_溶融式(手動)【手間のみ】 実線_15cm 時間的制約なし	395	m			
トラフィックペイント(JISK5665_3種1号) 溶融型(紛体状)ガラスビーズ含有量15~18% 白	81.51	kg			
ガラスビーズ(JISR3301_1号) 粒度0.106~0.850mm	3.58	kg			
プライマー トラフィックペイント接着用	3.58	kg			
軽油 パトロール給油,2~4KL積載車給油	5.72	L			
諸雑費	1	式			
*** 合計 ***	143	m			
*** 単位当たり ***	1	m			

# 施工単価表

区画線設置(溶融式)

VDT00002

単第0 -0052 表

ゼブラ 30cm

3

m 当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
昼間_溶融式(手動)【手間のみ】 ゼブラ_30cm 時間的制約なし	8	m			
トラフィックペイント(JISK5665_3種1号) 溶融型(紛体状)ガラスビーズ含有量15~18% 白	3.39	kg			
ガラスビーズ(JISR3301_1号) 粒度0.106~0.850mm	0.15	kg			
プライマー トラフィックペイント接着用	0.15	kg			
軽油 パトロール給油,2~4KL積載車給油	0.23	L			
諸雑費	1	式			
*** 合計 ***	3	m			
*** 単位当たり ***	1	m			

# 施工単価表

区画線設置(溶融式)  
矢印・記号・文字 15cm換算

VDT00003

単第0 -0053 表

13

m 当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
昼間_溶融式(手動)【手間のみ】 矢印・記号・文字_15cm換算 時間的制約なし	36	m			
トラフィックペイント(JISK5665_3種1号) 溶融型(紛体状)ガラスビーズ含有量15~18% 白	7.41	kg			
ガラスビーズ(JISR3301_1号) 粒度0.106~0.850mm	0.33	kg			
プライマー トラフィックペイント接着用	0.33	kg			
軽油 パトロール給油,2~4KL積載車給油	1.3	L			
諸雑費	1	式			
*** 合計 ***	13	m			
*** 単位当たり ***	1	m			

数量集計表						4工区
工種	規格・寸法	計算式	数量	単位	備考	
土工						
床掘	土砂		77.00	77.0	m <sup>3</sup>	
埋戻し	RC-40		46.70	46.7	m <sup>3</sup>	
埋戻材	RC-40		56.04	56.0	m <sup>3</sup>	
埋戻コンクリート	18-8-20		24.50	24.5	m <sup>3</sup>	
残土処分			77.00	77.0	m <sup>3</sup>	
自由勾配側溝	掘付		56.283	56.3	m	1,000kg<質量≤2,000kg
	掘付		0.768	0.8	m	質量≤1,000kg
	材料	600×900(標準)L=2,000	20.000	20.0	m	10本(参考質量1,024kg/本)
		600×1,000(標準)L=2,000	22.000	22.0	m	11本(参考質量1,234kg/本)
		600×1,000(横断)L=2,000	6.000	6.0	m	3本(参考質量1,353kg/本)
		600×1,000(暗渠)L=768	0.768	0.8	m	1本(参考質量675kg/本)
		600×1,000(暗渠)L=1,300	1.300	1.3	m	1本(参考質量1,142kg/本)
		600×1,000(暗渠)L=1,583	1.583	1.6	m	1本(参考質量1,391kg/本)
		600(コーナー135°)	5.400	5.4	m	4本(参考質量1,036kg/本)
	コンクリート蓋	幅600 L=500 車道	22.000	22.0	枚	参考質量109kg/枚
	コンクリート蓋	幅600 コーナー135	2.000	2.0	枚	参考質量131kg/枚
	グレーチング	幅600 車道・T-25(細目)L=1,000	10.000	10.0	枚	参考質量118kg/枚
	グレーチング	幅600 車道(横断)・T-25(細目)L=1,000	3.000	3.0	枚	参考質量118kg/枚
	グレーチング インパット	幅600 コーナー135(細目)	2.000	2.0	枚	参考質量100kg/枚
	基礎コンクリート 18-8-20	3.639m <sup>3</sup> ×1.06(ロス率)	3.857	3.857	m <sup>3</sup>	
	基礎コンクリート 18-8-20	5.313m <sup>3</sup> ×1.06(ロス率)	5.632	5.632	m <sup>3</sup>	
	基礎砕石 RC-30	58.844m <sup>2</sup> ×0.15m×1.20(ロス率)	10.592	10.592	m <sup>3</sup>	
集水樹工			3.0	3.0	基	
軽量鋼矢板	打込	軽量鋼矢板(LSP-3D)t=6mm L=5.5m	45.6	45.6	m	
			137	137.0	枚	
軽量鋼矢板切断	GL-1.0m撤去		45.6	45.6	m	
軽量鋼矢板	撤去質量		3.2	3.2	t	
軽量鋼矢板	未撤去質量		14.4	14.4	t	
縁石工	特殊縁石		11.7	11.7	m	
土間コンクリート	18-8-20		1.0	1.0	m <sup>3</sup>	
溶接金網		1.0×10.0=	10.0	10.0	m <sup>2</sup>	
張コンクリート	18-8-20		0.1	0.1	m <sup>3</sup>	
目地板	t=10mm	4.0×0.15=	0.6	0.6	m <sup>2</sup>	
舗装版切断	Co t=10cm		10.0	10.0	m	
構造物とりこわし	無筋Co		25.5	25.5	m <sup>3</sup>	
構造物とりこわし	鉄筋Co		5.3	5.3	m <sup>3</sup>	
殻運搬処理	無筋Co殻		25.5	25.5	m <sup>3</sup>	
殻運搬処理	鉄筋Co殻		5.3	5.3	m <sup>3</sup>	
転落防止柵	撤去 12.1kg/m		21.0	21.0	m	
グレーチング蓋	撤去 143.0kg/枚		2.0	2.0	枚	
スクラップ		(21.0×12.1+2.0×143.0)÷1000=	0.54	0.5	t	
車線分離標	撤去		2.0	2.0	本	
仮舗装						
舗装版切断	As t=5cm		62.8	62.8	m	
舗装版破砕	As BH0.13m <sup>3</sup>		56.9	56.9	m <sup>2</sup>	
殻運搬処理	As殻	56.90×0.05=	2.845	2.8	m <sup>3</sup>	
表層工	再生密粒度As(20) t=5cm		40.8	40.8	m <sup>2</sup>	
上層路盤工	再生粒度調整砕石(RM-30) t=10cm		40.8	40.8	m <sup>2</sup>	
下層路盤工	再生クラッシュラン(RC-30) t=10cm		40.8	40.8	m <sup>2</sup>	
底張り工						
側溝清掃	人力清掃工		119.6	119.6	m	
底張コンクリート	18-8-20		9.80	9.8	m <sup>3</sup>	
土のう積工	抱え・積立・撤去	0.2×4=	0.8	0.8	m <sup>2</sup>	
水替工	掘付・撤去		1.0	1.0	式	
本舗装						
舗装版切断	As t=5cm		24.4	24.4	m	
舗装版破砕	As BH0.45m <sup>3</sup>		390.0	390.0	m <sup>2</sup>	
殻運搬処理	As殻	390.00×0.05=	19.50	19.5	m <sup>3</sup>	
不陸整正	補足材なし		390.0	390.0	m <sup>2</sup>	
表層工	再生密粒度As(20) t=5cm		390.0	390.0	m <sup>2</sup>	
区画線工	外側線 白 W=15cm		143.4	143.4	m	
区画線工	停止線 白 W=30cm		2.6	2.6	m	
区画線工	文字「止まれ」白 W=15cm換算		13.0	13.0	m	











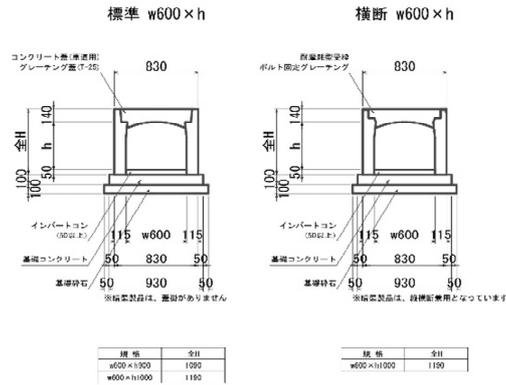
### 舗装工数量計算書 2

測点	距離 (m)	表層As(20)5cm			測点	距離 (m)	上層路盤(RM-30)10cm			摘要
		W1 (m)	平均幅 (m)	平積 (m <sup>2</sup> )			W2 (m)	平均幅 (m)	平積 (m <sup>2</sup> )	
		0.70	-	-			0.70	-	-	
No.9	1.480	0.70	0.70	1.0	No.9	1.480	0.70	0.70	1.0	
No.10	20.000	0.70	0.70	14.0	No.10	20.000	0.70	0.70	14.0	
No.11	20.000	0.70	0.70	14.0	No.11	20.000	0.70	0.70	14.0	
	16.800	0.70	0.70	11.8		16.800	0.70	0.70	11.8	
合計	58.280			40.8		58.280			40.8	

測点	距離 (m)	下層路盤(RC-30)10cm			測点	距離 (m)				摘要
		W3 (m)	平均幅 (m)	平積 (m <sup>2</sup> )						
		0.70	-	-						
No.9	1.480	0.70	0.70	1.0						
No.10	20.000	0.70	0.70	14.0						
No.11	20.000	0.70	0.70	14.0						
	16.800	0.70	0.70	11.8						
合計	58.280			40.8						

# 自由勾配側溝断面図

## 一般部



## 自由勾配側溝材料表

名称	規格	数量	単位
インバートコンクリート	$\sigma_{ck}=18N/mm^2$	3.639	m <sup>3</sup>
基礎コンクリート	$\sigma_{ck}=18N/mm^2$	5.313	m <sup>3</sup>
同上型枠	均し基礎型枠	11.426	m <sup>2</sup>
基礎碎石	RC-30	58.844	m <sup>2</sup>

## 自由勾配側溝数量表

- 備考
- ※製品 No. 1 ~ 31を集計しています。
  - ※施工の伸びを、3mm見込んでいます。
  - ※斜切製品は、斜切角度の緩い方から見て、L=左側/右側とします。

名称	規格	長さ	タイプ	数量	単位	製品番号	備考
自由勾配側溝	600×900	2000	標準	10	本		
		600×1000	2000	標準	11	本	
	600×1000	2000	横断	3	本		
		768	暗渠	1	本	4	
		1300	暗渠	1	本	16	
		1583	暗渠	1	本	21	
		コーナー135	4	本			
合計				31	本	1~31	
蓋版	600	500	車道	22	枚		
			コーナー135	2	枚		
グレーチング	600	1000	車道・T-25(細目)	10	枚		
			車道(横断)	3	枚		
			コーナー135	2	枚		



インバートコンクリート数量計算

インバート コンクリート合計	3.639	m3
-------------------	-------	----

内訳
----

算式

(	TL	+	TR	)/2×	w	×	L	=	V1	m3
(	0.149	+	0.146	)/2×	0.600	×	0.510	=	0.045	m3
(	0.146	+	0.106	)/2×	0.600	×	6.270	=	0.474	m3
(	0.106	+	0.127	)/2×	0.600	×	12.760	=	0.892	m3
(	0.127	+	0.152	)/2×	0.600	×	15.975	=	1.337	m3
(	0.052	+	0.059	)/2×	0.600	×	4.816	=	0.160	m3
(	0.059	+	0.086	)/2×	0.600	×	16.800	=	0.731	m3

基礎コンクリート数量計算

基礎コンクリート 合計	5.313	m3
----------------	-------	----

内訳

算式

T2	×	B1	×	L	=	V2	m3
0.100	×	0.930	×	0.510	=	0.047	m3
0.100	×	0.930	×	6.270	=	0.583	m3
0.100	×	0.930	×	12.760	=	1.187	m3
0.100	×	0.930	×	15.975	=	1.486	m3
0.100	×	0.930	×	4.816	=	0.448	m3
0.100	×	0.930	×	16.800	=	1.562	m3

基礎コンクリート型枠数量計算

基礎コンクリート 型枠合計	11.426	m2
------------------	--------	----

内訳

算式

2	×	T2	×	L	=	S1	m2
2	×	0.100	×	0.510	=	0.102	m2
2	×	0.100	×	6.270	=	1.254	m2
2	×	0.100	×	12.760	=	2.552	m2
2	×	0.100	×	15.975	=	3.195	m2
2	×	0.100	×	4.816	=	0.963	m2
2	×	0.100	×	16.800	=	3.360	m2

基礎碎石数量計算

基礎碎石合計	58.844	m2
--------	--------	----

内訳

算式

B2	×	L	=	S2	m2
1.030	×	0.510	=	0.525	m2
1.030	×	6.270	=	6.458	m2
1.030	×	12.760	=	13.143	m2
1.030	×	15.975	=	16.454	m2
1.030	×	4.816	=	4.960	m2
1.030	×	16.800	=	17.304	m2





